無産階級戰鬪雜誌

進め

第四年◆九　月◆第九號

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十五年八月廿九日納本同年九月一日發行

定價十錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

誌代一ケ年分拂込者にマルクス大寫眞無代贈呈す

本號一覽

◇青銅の意志……卷頭言
◇紅焰萬丈……時評
◇失業者の問題……本莊可宗
◇社會主義の旗下に集れ……神庭又之助
◇ブルジョア的教育を排す……小森善逸
◇勞働組合の本質的歩み……望月源治

全土戰報

慘敗の富豪……好陽生
民衆の敵を射よ……齋藤生
咄！此の分沒漢……傘木幸盛
不用な人間……服部芳象
此の暴法を見よ……菊地塡
洪二〇〇を監視せよ……川田紅葉
關西勞働第二回大會……宮本純一
噫！此の矛盾……安田桑輔
惡衆資本家走狗共……N・K生
滿洲の勞資戰……李炳榮
◇消費と不勞所得階級……吉田源藏
◇日本農民黨準備會生る……黑木久造
◇フランツ・メーリング……淺野研眞
◇青年訓練に反對せよ……友實孫四郎
◇革命要素としての鬪爭意識……澤井龍之助
◇或る對話 勞働者と神官……青山青

日本最初の試み 寫眞集愈々出來！

社會思想家寫眞集

一部五拾錢
送料四錢

豫告なしながらも製版の關係から久しく出來なかつた寫眞集は双方共一時に出來した。四六倍版アート紙で極めて美麗。收むる所社會思想家寫眞集には、サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウ井ルヘルム・リーブクネヒト、カール・リーブクネヒト、クロポトキン、ラッサール、レーニン、トロツキーの拾三葉。マルクス寫眞集には、マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の拾一葉。何づれも我等の永久に記念すべき貴重なものである。賣切れない中に至急申込まれたし。

マルクス寫眞集

一部五拾錢
送料四錢

二十版出來一部
參拾貳錢送料共

マルクス 寫眞無代贈呈

コロタイプ寫眞版丈一尺五寸巾九寸

マルクスは科學的社會主義の鼻祖にして無産階級永遠の恩人である。吾社は最近原版を獨逸より取寄せ、復寫して讀者に配布することゝした。今月中に誌代一ケ年分前納せし讀者に無代で頒布する。至急申込まれたし。

淺野研眞述

日本勞働運動小史

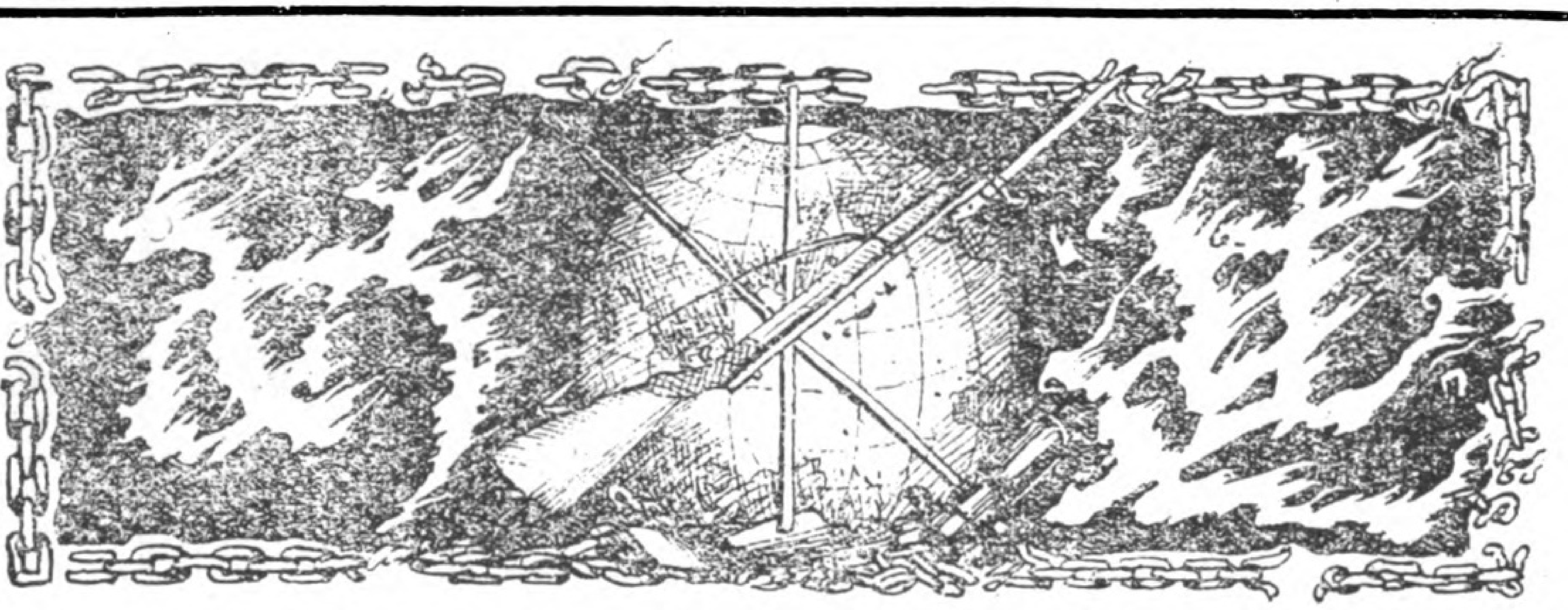
四六版百三十頁
一部五拾錢
送料四錢

進め宣傳叢書として右の日本勞働運動小史を八月初旬に出版した。

（以下毎月二冊宛發行の豫定。多數又は團體注文は特に割引す）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬國の無産者團結せよ



大正十五年九月　戰鬪・進め・雜誌　第四年第九號

青銅の意志

『力』に對する人間の憧憬は、時代の如何を問はず常に生成流轉してゐるものと見える。舊き内容を持てる英雄主義は、近代の自由民權の思想發達と共に破産して終つたけれども、而してルソーやボルテエル等が育くんだ思想は遂に佛蘭西革命を生んで、その革命の傳統は今日の佛蘭西に傳はり、尙世界各國にも大きな影響を與へて今日に到つたのではあるけれども、一九一七年の露西亞に於ける無産者階級獨裁の革命に口火が切られて以來、自由主義人道主義の思想、民主政治の理想と實現は漸次に吾々の社會から引退を餘儀なくされつゝある。ウヰルソンの「世界の民主々義の爲め」の合言葉も、單に一片の紙屑と化して、伊太利に於けるムツソリニの獨裁政治、西班牙に於ける軍閥の獨裁、波蘭に於けるビルドウスキイの獨裁——而して今や自由主義の本家たる佛蘭西に於てさへも、ポアンカレーの超然内閣は、正に强力を持つてせる獨裁政治の開始である。

破産に瀕せる歐洲の諸國民は、何等民衆の疾苦を除去し得ざる民主々義、議會政治よりも、寧ろ青銅の意志に因る獨裁政治を歡迎してゐるかに見える。之れが即ち今日諸國に獨裁政治の擡頭し來れる所以であつて世界の民主々義は今や嘲笑にしか値せざる過去の遺物——博物館内の一陳列品に過ぎざるものとなつた。斯くて民主々義の沒落と共に、その伴侶たる議會政治も、必然的に改造か沒落かの岐路に立たせられてゐる。

○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○。

吾等が今日必要とするものは、その結論に於て『力』である。而して今日の民衆の輿望せるものも『力』である。『力』——それは民衆の意志を代表し、民衆の感情を代表せる青銅の人である。

舊き英雄主義は既に十九世紀に滅び去つた。然しながら今日新しき意味の英雄主義は生れつゝある。新しき英雄とは何ぞや。民衆が即ちそれである、無産民衆こそは即ちそれである。彼等は來る可き時代の價値の創造者であり、新しき社會の建築家である。彼等の理想とその實現手段とは、とりもなほさず次の時代の人類への、最大の贈物である。歷史の車輪は、その必然性に從つて廻轉する。獨裁制はその一廻轉である。資本家階級はその墓穴を掘る可く、而して無産階級は未來社會の一基石を据える可く、各自に急ぎつゝある。

時代は正に『青銅の意志』を要求してゐる。その青銅の意志が、何の方角に向つて動き進むかゞ、吾等にとつて最も興味ある問題である。改造か沒落か——民主々義とその政治よ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

紅焰萬丈

（同人）時評

權力と暴動

■最近各地に於いて民衆の暴動が盛んに行はれてゐる。其の暴動の原因たるや凡べて權力階級の專斷に對する民衆の憤激であり、其の橫暴に對し直接行動による民衆の叛逆である。日本の權力階級の專斷なる政治振りは今更始まつたものではないが、彼等は恰も法律の權化でもあるかの如く法理一點張りの政策を以つて民衆の利害を蹂躙してゐる。そして若し此れに對し民衆が要求する時は、自己の有する權力をもつて蹴斥し、或ひは威嚇的暴力による彈壓を加へて迄自己の專橫を擅まゝにし、以つて民衆をして自己の獨裁下に從かんとする恐るべき、そして憎むべき權力階級の本性を遺憾なき迄露骨に現はす。今回の暴動の如きは其の一部的結果としての現象に外ならぬ。

■我々は今回の暴動に對しては多く批判するの自由を有してゐないが、暴動には群衆心理に支配される一時的暴動と、組織的な暴動とがある。從來の日本の暴動の多くは何等團體的な組織立つたものでなく、たゞ多數の民衆が群衆心理に動かされて行つた所の花火線香的暴動であつたようである。例へば昔の百姓一揆にしろ、數年前の米騷動にしろ、今回の暴動にしろ其の凡べてが無組織な、そして理論的根據のないものである事を知る時に、我々は實に少なからざる失望と落膽とを感ぜざるを得ない。

■暴動は單なる暴動として終つたのでは無である。少なくとも○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○であらねばならない。が併し民衆が暴動的態度に出ると云ふ事が既に明らかに現日本の政治制度及び經濟制度の間には否定すべからざる間隙の生じてゐる事を雄辯に物語つてゐる。殊に暴動勃發の際に於ける官憲當局の狼狽振りと、其の取締りの威嚇的、暴力的である事を見ても日本の資本主義がその末路に於ける狂態であると云へやう。

■今回の暴動事件は思想的に觀れば實に無意義なものである。然しながら此れをして大衆的な、そして理論的な價値を附ける時には强ち輕々に取扱ふべきではない。我々の望む所は實に玆にある。斯かる運動をして眞の大衆的な組織立つた、團體行動たらしめると共に、我々の實際生活上の問題に根幹を下ろした所の根强い運動たらしめねばならぬ。

■日本の權力階級は今や民衆の直接行動に對しては最大の恐怖を抱きつゝある。そして日本をして最高限度の彈壓治下に置かんとしつゝある。權力の前に民衆倒れるか？民衆の前に權力崩れるか？我々は最高の理想と手段を以つて○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■我々の云ふ暴動は眞の大衆的な組織立つたものであると共に決して花火線香的な、一時的なものであつてはならないのである。

獨立勞働協會の政黨組織と其の危險性

■本年二月、安部磯雄、高橋龜吉、島中雄三等の諸氏に依つて組織された獨立勞働協會は勤勞階級の社會的地位の向上に種々な活動をなしつゝあつたが今回更らに勇躍して、獨立勞働協會を母體とする勤勞階級の民衆的政黨が產み出されようとしてゐる。

■獨立勞働協會は其の成立當初に示した如く、所謂急進的行動を排し飽迄も穩健着實をモット

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ーとして無產階級の解放運動を押し擴げて行かうとの目的の下に生れたものである。

■今や日本の社會運動の狀勢は最も健實性を帶び、ロシア派とも云ふべき共產黨一派排斥の聲全土に擧がる時、我々は獨立勞働協會の成立に少なからざる期待と希望とを抱いてゐた。そして今其れを母體とする所の民衆的新政黨が生れんとするに當つて更らに大いなる期待を以つて其の前途を祝福するものである。

■併しながら茲に最も奇とすべきは安部磯雄氏である。我々は今日迄我が無產者運動に氏の存在を誇りとしてゐた。則ち彼の大逆事件以後社會運動振はず、同志の多くは或ひは逃避し、或ひは賣文による皮肉を生命としてお茶を濁しつゝあつた際にも彼れ安部氏は教壇に於て堂々と社會主義を鼓吹した。其の論ずる所合理的であり、合法的であるから血氣の青年には喜ばれざるも、其永續的努力と崇高なる人格とは吾人の誇りとしてゐる所であつた。氏は昨年農民勞働黨の母體たる政治研究會の成立に奔走し、不幸共產黨の毒手に依て除名されたのである。然るに氏は今度大阪に於ける勞働農民黨の第三回中央委員會に出席したとの報がある。今や勞働農民黨が共產黨の喰物たらんとするの時、氏の委員會に臨みしは何事ぞ！遠謀共產黨排除の爲めに赴むけるか？或ひは獨立勞働協會を賣付けんが爲めなるか？實に不可解と云ふべし。彼若し勞農黨と握手せんか、其の長を取られて扼殺にされ終に排斥の憂目を見るに至るであらう事は何人も認むる所なり、安部氏亦老たりと云ふべし。

日本農民黨の生誕

■全日本農民組合同盟を中心主體とする日本農民黨が生まれんとしてゐる。八月二十五日岐阜市に於いて開らかれる創立準備委員會で結黨準備を了へ、全日本の農民を糾合して愈々政治舞臺へ乗り出すことになつてゐる。其の聲明書、綱領、政策草案等（別項記載）は最も穩健に、最も着實に政治舞臺に對する無產階級の活動範圍を押し擴げて行かんとするものである。我々は共產黨一派の如く、現實を省みず徒らに急進的行動を執る事は斷じて日本無產階級を解放する道ではないと信ずる。我々は或ひは急進的に、或ひは穩健に、日本の現實に則して行動を決しなければならない。此の意味に於いて日本農民黨の生誕を祝し、其の前途に大いなる期待と希望を抱くものである。

ジノヴィエフと共產黨

■多年ロシアに於いて重要な地位にありて羽振りを利かしたジノヴィエフ氏は今回共產黨中央執行委員會に於いて除名され、一切の職役を剝奪された。電報の報ずる所に依れば同氏は相手を問はず共產黨内の秘密を憚る事なく公表し、且つ自己の勢力下にある者と畫策して共產黨政府の政策の悉くに反對行動を執るので共產黨中央執行委員會ではソヴエート政府の基礎を危ふくせんとする恐るべき陰謀を企てつゝあるものとして、事を未然に防がんが爲めに除名したのであると云はれてゐる。

■ジノヴィエフ氏はこれ迄でも自己の地位を利用してトロツキーや其他多くの政敵を黨内から葬つたが惡運遂ひに永續せず、今日失脚するに至つたのである。我々はジノヴィエフの如き人、即ち階級道德を無視し多くの同志を葬り、或ひはロシアの政治を一手に掌握し、以つて自己の獨裁を擅まゝにせんとするが如きコンミユニストとして爲すべからざる恐るべき野心家を今日共產黨内から葬り去つた事をロシアの爲めに喜ぶと共に、社會主義の爲めにも喜ぶものである。尚ほ共產黨中央委員會では氏の現職、第三インターナショナルの議長を止めさせようとしてゐる。

■日本にも惡辣陰險なるジノヴ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

イエフ一派の出店たる共産黨の一派が居る。評議會、無産者新聞等である。數年前より策略、掛引乘取り、陰謀を事とし之れを以つて社會運動なりと誤解してゐる人達である。總同盟を破壞せんとした事、水平社へ非同人を入れて舊幹部を追ひ出し其の力を弱めた事、或ひは農民勞働黨の存在を口實にして政治研究會を乘取つた事、農民勞働黨の基礎を危ふくした事等、黨勢擴張の爲めには如何なる惡事をも敢へて辭せざるの態度を以つて上記の如く今日迄友黨無産團體を破壞し、解放運動を阻害せし事實は殆んど數ふるに遑なき有樣である。

■日本の共産黨と稱する一派も彼のジノヴィエフの如く權謀術策を弄して無産者運動を破壞しつゝある點に於いては正に等しく無産階級陣營の內敵である。策を以つて立つ者は策に依つて倒るゝ事、古今東西を通じて誤らず、共産黨やジノヴィエフの失脚せしも亦宜ならざるを得んや。

■我々は社會主義なる名に於いて無産者運動を冒瀆しつゝある是等の者に向つて益々誅戮の刄を加へると共に、汚がされたる陣營內を徹底的に廓淸せんとするものである。

無産農民學校

■新潟縣木崎村に於ける小作爭議は數年前より繫爭中であつたが、最近地主の飽く無き橫暴と官憲の極り無き迫害から益々深刻化し、小作人側は遂ひに小學生徒の同盟休校を斷行し、休校兒童の爲めに、日本最初の無産農民學校を建設して去る六月十五日其の開校式を擧げた。

■由來新潟縣は地主王國と云はれてゐる位、地主は權勢を振ひ、凡ゆる奢侈豪逸に耽けり、小作人の膏血を搾取し盡してきた。從つて小作人の地主を呪咀する聲絕えず止んだ事がなく憤激の叫喚を聞かざる時がなかつた。然るに地主側は是等の小作人の窮狀を省みようともせず、官憲の應援の下に或ひは土地立入を禁止し、或ひは耕作禁止をし、或ひは土地の返還を迫り小作人をして餓死線上に放り出したのである。此の慘忍惡虐なる處置に憤激したる一農民組合長は血を以つて地主の反省を促がさんとて割腹自殺を遂げた事がある。然るに飽迄も冷血なる地主は之の尊ぶべき血の犧牲者を出した事をも知らざるが如く恬然として、日を經るに從つて益々其の暴虐を逞しうした。加ふるに官憲の彈壓と學校當局の爭議兒童の極端なる差別待遇とで小作爭議の進展は必然的に無産農民學校の建設へ導いた。

■無産農民學校は種々な理由の下に生まれた。地主への反感、官憲への反逆、學校當局の教育方針に對する反省促進、そしてプロレットカルトの必要とに迫まられて、茲に生まれたものである。

■今日の教育制度はブルジョア本位の教育制度であつてプロレタリアは其れに依つて受くる所のものは實に無智と奴隸精神の外何物もない。そのブルジョア教育制度に依つてプロレタリアの子女が其の純眞なる個性をざれだけ蹂躙され、虐げられてゐるであらうか。其の教ふる所は實に正義であり、眞理である。然かし其の正義たるや、眞理たるや實にブルジョア謳歌の眞理であり奴隸精神養成の正義である。故にブルジョア教育を受けた者は既に本能的に奴隸としての精神を抱かしめられてゐる。

■今日プロレットカルトとしての勞働學校の存在は實に此の間の大なる誤謬を知らしむべき重大なる使命をもつてゐる。

■今度の無産農民學校は日本で最初のものであると共に、其の前途には多くの障害物が橫たはつてゐる。學校建設中に血迷へる地主と官憲とが學校敷地の假處分を施こし其の工事を禁止せしめる等凡ゆる手段と方法とを以つて兒童の樂園を蹂躙し、伸びんとする新芽の發達を阻まんとしてゐる。併しながら、プロレタリアの强烈なる階級鬪爭意識は斯かる壓迫、迫害では斷じて屈するものではない。否寧ろ斯くすればする程反比例としてより激烈なる鬪爭意識を植え付けるであらう。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

失業者の問題

本莊可宗

一

いま世界は失業者の問題で苦しんでゐる。倫敦は八十萬の、東京は四十萬の失業者を擁してじたばたしてゐる。資本主義國はこの問題に當面して先づ社會的行詰りを感じだしたのである。之れの解決にして絶望ならんか、資本主義社會は崩壞をしなければならない。しかも之れが解決に着手しやうとして支配階級が驚かねばならなかつたことは、之れの解決とは軈て彼等の組織制度の否定であることを知つたからである。何故ならば失業者問題とは資本主義組織なるものゝ胎内から生み出した毒素に外ならぬからである。資本主義はこの斷面に於てその絶望を先づ曝露さしたのである。

失業者の問題が社會の意識線上に出てくるときは、いつもその社會の崩落期である。たゞへ意識下にそれがあつて世は泰平であるとしても、いつも社會の支配階級の存立を根底から脅やかしてゐるものはこの失業者の存在である。

德川三百年史に於て、いつも幕府當局者の意識を、側面から脅かしてゐたものは、此の失業者の問題であつた。德川初期に於て、その國內政策に於て、當局者の常に憂へたものは關西大阪側の失業者(浪人)の處分であつた。そして彼等の憂へた通り幕府の支配史上終りに至るまで斷えず騷を投げたものは失業者(浪人)であつた。由井正雪の亂も浪人の仕事であつた。櫻田門外のヴァイオレンスも浪人の仕事であつた。四十七士の闖入も浪人の仕事であつた。山縣大貳藤井右門、さては高山彥九郎、蒲生君平もみな謂はゞ浪士であつた。一定の封侯に仕へた定職者であつた譯ではない。失業者と言つて宜い。

德川幕府は最初からこの失業者問題に頭を惱ませ、そして此の失業者の行動によつて滅びたのであつた。家康創基のとき既に本多、酒井等の參謀は迅くもこれが危險を看破した。後期に至つては松平、安藤等の諸相が之れに深く困惑した。長男は親爺の祿を讓り受けるから宜いが二男三男は行き處がない。町人になり下がるか浪人になるかである。そして末期には浪人が益々增えた。

生存は權利である。生活は論理である。失業者は生存權を主張せねばならぬ。生活が保證されぬ時代や組織は、破壞されなければならない。さもなくば餓死するかである。——德川時代は斯くして失業者問題を解決し得ずして、失業者の爲めに斃れた。何故なれば失業者の問題の解決とは軈て失業者を生んだ組織そのものゝ否定だからである。

失業者は制度の下に生きる者ではない。從て制度の批評には最も宜い立場である。しかも背後に餓死は直接してゐる。彼等○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。生命が自己を主張することは、生物學的に言つても、○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○。

現代の資本主義組織の下にあつて生れた多くの失業者も亦、それが社會主義思想と結びつくとき、此の組織にとつては最も怖るべき毒素である。丁度、幕末失業者(浪人)が、尊王主義思想と結びついた場合と同じ作用を、その制度に對して働かせるのである。

二

私はここに、現代の失業者の立場から世に問ふべき質問を提出して、その敎示を、賢明なブルジョア諸彥から仰ぎたいのである。

いま、失業者にとつては路が三つの場合しか無い。

その一つは、職業を與へて貰ふことである。

その二は、餓死するかである

その三は、竊盜するかである

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の外に失業者にとつて取るべき路があるなら教へて戴きたい。

ところで、此の第一の場合、職業を得るといふことは果して有望であらうか。現代失業者にとつては絶望に近いことではないだらうか。といふのは資本主義文明といふものは機械力から生れ出たものであるから、その本質上、益々人手を省くやうに出來てゐるものである。機械の足りない所を人が暫くうめあはせをする位のものであつて、その大量生產、大量販賣は、全く機械に依る。機械は人力の省略である。就業者の數は機械の發達と共に減つてゆくのが本當である。かてて加へて、資本主義經濟は、大資本が小資本を併呑してゆく傾向を持つてゐる。こゝでまた人は省略されねばならない。斯く考へてくると、資本主義治下にあつては、職業を與へるといふことは本質上絶望的なことである。失業者そのものが資本主義組織から生れ出たものなのである。

職業を與へることが絶望とすれば、勢ひ現代の失業者は餓死（自殺）かRobberyかの二つの場合しか、不幸にも取り殘されてゐない。そして現に日々の新聞紙は、悲慘なる失業者が此の二途に追ひやられてゐる事實を報告してゐる。餓死自殺する者と雖も恬々として死を選んだ譯ではない。死ぬ前までに何度か就職口を捜し廻つたであらう。何とかして生きてゆきたいと努めたであらう。然し駄目であつた。泥棒するより外に仕樣がない、そこで彼等は眼頭の涙を拭いて死途に就いたに違ひない。

けれども餓死自殺は人間の決して默許して置くべき問題ではない。人間にとつては生存權は絶對だからである。民法ですら人は出生と共に權利を有すと宣明してゐる。オギアと生れた兒でも之れを殺せば、殺人罪である。之れほど社會は人間の生存の權利を重く見てゐながら、その生存の責任を社會は負はない。個人の自由競爭にまかせてゐる。

社會から言ても、人に向つてお前は職業を得られない、といつてRobberyをしてはならぬ、だから死ねと言ふ權利はない。人にして誰か他人に向つて死ねと言ひ得る權利を持つてゐるものがあらう。

失業者は斷じて第二の場合を執るべきではない。また社會の誰人と雖も、第二の場合を執れと言ひ得る權利は持つてゐない。

そしてみれば、こゝに失業者に殘るのは第三の場合（甚だ不幸にも）しかない。

路が幾つもあるのにも關らずRobberyといふ路を取つたのなら惡いといふ事もいへやう。併し路がそれしか無い者に向つてそれが善いとか惡いとか誰が言へやう。彼にとつて必至の唯一の手段である場合、その責任は彼をして其の路を必至唯一のものたらしめた社會の方にあるといはなければならない。Robbe○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

失業者の問題はこゝに社會的危機を包藏すると云はなければならない。社會的秩序に觸れる重大な問題に繋がるのである。

私は、爲政者諸君に向つて、此の「失業者の生存權」を何と片附けるべきであるか、を御教示願ひたいのである。

三

第一の場合は絶望であるとし第三の場合は社會的秩序に觸れるとするならば、解決は一にかゝつて第二の場合しかない。即ち餓死自殺の問題を片附けることである。

餓死自殺は、個人の生存を、個人の自由競爭に放置したからである。各個人の生存を社會が責任を持ち合ふ社會組織にすれば解決がつく。そうすれば、社○○○○○○○○○○○○○○○○。

現在の社會は、着物を着れば重い織物稅を賦課する。だからといつて裸體でゐれば之れまた罰金を取る。人はたゞ默つて飲まず食はずに座つてゐるだけでも己に金はかかつてゐるのである。しかし金を得る路に就ては何の責任をも背負つてはくれない、各個人各自にまかせてゐる。抑も罰金といひ稅金といふのは「人は金を得」といふ根本假定に立てゐる。然るに失業者は此の根本假定を果し得ない。

社會は失業者に職業を與へることもせず、第三の場合も許す

ことをせずして、たゞ賦課のみを課してゐる。責任を負はずして義務のみを強要してゐる。失業者は立つべき場所がないではないか。

人は金を持てる者なりといふ根本假定に立つた法律が平氣で施行されるのはブルジョアが法律の作成者だからである。失業者は浮ぶ瀬がないではないか。

失業者にして浮ぶ瀬が無いときには、實はまた社會がいつしか沈まねばならぬときである。

之れが〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇にない。

四

歴史は、いつも中央集權が衰へたときには、そして各個人の生存が保證されないときには、公盗時代に這入つたことを示してゐる。

平安朝末期、足利末期、瀬戸内海の海賊、南支那海の海賊等と、例の八幡船なんかみな失業者の行動である。また清の太祖でも、明の太祖でも悉く公盗であるᒼ。今の張作霖だつて馬賊の親方ではないか。豊臣秀吉だつて、あの頃の戰國の成金大名は凡ど公盗であつた。今日の蜂須賀侯の先祖だつて盗棒であつた。

いま、第一の場合、職業を與へられぬ〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、第三の解決、歴史の示すやうに公盗時代に這入るか、孰れかしかない。

しかも第三の解決は、舊い私有的封建的生活意識によつて生きてゐたときの路であつて、現代の社會的生活意識が依るべき路ではない。

五

私はこの小稿に於て、くれぐれも、當局者諸君に斷つて置く。

私は、斯く言つたのは、たゞ世に向て教示を仰ぎたい爲めであり、解決を提示して貰ひたいからであつて、決して奇言を弄して自ら快しとするからでないことである。

失業者が右のやうに質問したら、ブルジョアや當局は何と言つて答へるか、私は世の爲めに之を憂ひ、之れを御尋ねする次第である。

（七、二五）

エンゲルス及マルクスの私的生活

一八五〇年このかた、エンゲルスはまたマンチエスターに留まつて、父の關係して居つた工場の事務をとる事になつたが、彼は勿論そんな仕事は嫌であるけれども、ロンドンに住んで貧乏と戰ひつゝ餘念もなく著述に日を送つてゐるマルクス一家の生計を助けて行く爲には、この外にこれと云ふよい方法がなかつたからである。

ここにゐる間に彼はアイルランド人バーンス家の、メリーに深く戀をするやうになつて、結局此の女と數年間同棲してゐたが、一八六三年、彼女は心臓病に似た病ひに襲はれて突然に死んでしまつた。彼女の死はエンゲルスに取つては大打撃であつた。

彼は早速マルクスに手紙を出して愛する花を失くした事を告げた。ところがマルクスの返事は意外にも簡單であつて唯二三行ばかり惜しいことだつたと云ふ意味をならべたのみで、後は自分の家計の苦しさを繰り返し書いてあるきりだつた。平生は毎日の樣に文通してゐたエンゲルスも此の時だけは六日間も何もいつてやらなかつた。

エンゲルスは沈默を破つてマルクスに手紙をかいた、そして自分の上に降かゝつた不幸の通知をしてゐるのに何故冷やかな態度を採つたのだと責めた。『君などに較べると、俗なつまらない友人達までも深い同情と友情を示して與れたのに。』といつてやつたのだ。するとマルクスはひどく心を動かされて早速冷淡に見えた事に對する辯解の手紙を書いた。マルクスは決してエンゲルスの損失を感じなかつたのではなく、エンゲルスから手紙の着いた時は周旋屋は這入り込んで咽の前に坐つてゐるし、商人達は支拂ひを要求して騒いでゐるし、家の中には何一つ食物もなくその上、娘のエンニイは病氣だと云つた調子に遣れ重れの不幸の最中であつた。

けれどもエンゲルスは、直ちに怒を解いて折返して返事を出した。『君の誠心に對する君の前の手紙は僕にどんな印象を與へたかは、君自身でも解るだろう。

此の一週間と云ふものは君の手紙はチットモ僕の頭を離れなかつた事を云つて置く。實際、僕はどうしてもそれを忘れることが出來なかつた。でも、もういゝんだ。今度與れた手紙で、すつかり元通りになつてしまつたから。そして僕はメリーと一緒に僕の一番古い、一番いゝ友達を失つて了はなかつた事を嬉しく思ひます』それから彼は續けてマルクスを目前の金錢上の心配から救ひ出す計畫の大要を述べた。

マルクスは同じ樣な調子で返事を寄越してゐる。『今だから、すつかり形式を離れていつてしまへるのだが、此の數週間といふものは僕は隨分ひどい目に會つて來たけれどそれでも、僕達の友情を破壞しないかと云ふ心配に比較して、それ位な事は皆まるで、何でもない事に思はれた。僕は今度のやうな大切な時期に君を慰めやうとはしないで却つて、おめおめと、自己の個人的な困難に就て君を煩はせると云ふ樣なことがよく平氣でやれるものだと思ふ。』

一八六四年の末エンゲルスは前妻メリー・バーンスの妹、リッチイと結婚した。

——（カーハンコアテスに據る）——

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働組合の本質的歩み

望月源治

日本の勞働組合運動は今や基礎確立の必要に迫られてゐる。我々は基礎づけられなければならぬ時は基礎確立の爲めに、戰はなくてはならぬ時は眞に生命を賭して戰ひ、そして眞に敵の牙城に喰ひ入るの熱心さと、眞面目さとを以つて運動の發展を期さればならぬ。此の時望月氏は東奔西走、席の温まる暇もなき多忙裡に、適切な左の一篇を寄せられた事を感謝する次第である。――(編輯子)――

一

我々は今、日本に於ける勞働組合の發生、並に其の最初の發達經路を次の如く解しつつ問題を先に進めよう。

即ち其の發生は、我々の生活上必然的に勞働組合を造るに至つたと云ふのでなしに、先進歐米諸國の發達せる勞働運動の理想並に形態が観念づけられて、日本の知識分子に反映した。從つて日本の勞働運動の最初に於て、經驗的でなく、觀念的に、實證的でなく、抽象的に、勞働運動の發達を促進せしめ來つたことを觀ることが出來る。のみならず、歐米の圓熟せる社會運動の反映は、世界大戰以來、愈々濃厚に日本に於ける運動の觀念的飛躍を力づけた。

大正九、十、十一年の中頃に至るまでの、サンヂカリズム的直接行動、經濟行動一大張を主張した時代を回想して見よ。

先づ政治行動を否定したるが如き、或ひはイタリー式工場占領のマネ事をなしたるが如き、事實は列記すれば限りないが、要するに勞働運動方面と云はず思想運動方面と言はず、實に馬鹿〳〵しき過去の純な我々の無智に驚き入ることであらう。

二

かゝる過去の事實から何を見出すべきか、我々は有名な山川氏の方向轉換論でなしに、今日の勞働組合自身の内臟に眞の傳統の結果、或る遺物を發見する。即ち、勞働組合は、其の存立の第一義たるべき組合實力、言ひかへれば資本家に對抗すべき力を增大することなしに、資本主義そのものとの階級的鬪爭方法を論究した。

之を更に分離して考へれば、勞働組合日常當面の職分を認識せずに、第二次的方面、即ち思想水準の高調、理論的潔癖の必要性を論究した。

三

我々は以上の結論として此處に我が勞働組合の現勢を述べよう。

日本勞働總同盟を初めとして大約五百の組合があり、其の全組合員數三十萬餘ある。さて以上の内容は如何にといふに、今日はつきりした調査が行き届いていないから、我々の經驗に依る外ないが、日本海員組合と、總同盟關東醸造勞働組合を模範的代表組合とするが此の二組合をのぞいては次の條件の整つてゐる事は想像され得ない。

(イ)組合基金の積立てが、關係工場の力に相應して積立てられてゐる。

(ロ)組合費を立派な醵出金として觀念づけてゐる。從つて如何なる臨時費の徵集があつても不平や驚きを感じない。

(ハ)自らの醵出金による會館を、持つてゐる。

(ニ)幹部の移動が極めて少ない

(ホ)組合員の增加率の大なるに移動並に減少の數が極めて少ない。

(ヘ)消費組合を極めて有効に利用して勞働組合を組合員の生活上必要たらしめてゐる。

(ト)組合員を止めるときは大體に於て勞働を止める。

之は完成されたる組合だと云ふ譯ではなく、未だ發達の途上にあるのだが、斯樣な組合力を持つた組合が殆どない、と云ふ事を見るに過ぎない。

我々の經驗は次の事を示す。

今日、組合が增大したとか、組織が強大になつたとか云ふが、

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

加入して三月、半年、一年を以つて又姿を資本社會の暗闇に消して行く、新陳代謝するに過ぎない勞働組合の內容だ。聯合とか、同盟とか集中的言葉を使つても、實は觀念上の滿足に過ぎない。然も、五十人、百人、甚だしきは、古いカンバンだけで勞働組合の代表權を持つと云ふが如き野心の存するに於ておや

以上は全く遠慮のない我國勞働組合の內幕をあばいたのである。

四

日本の資本主義の行詰りは、必然的に崩壞の運命をたどつてゐると云ふ見方もよかろう。

從つて帝國主義的侵略主義の結果、日米戰爭が起ると夢想するのも自由である。だといつて此の未熟な日本の既成勞働組合に一齊に以上の對照物に突撃しろと命じて平氣でゐる思想家があれば、彼れは實に大刀を拔いて大砲に向ふ兵法學者だ。

なる程不景氣は底を知らずに走り續けてゐる。行詰り的苦悶は日本の隅々に至るまで反映してゐる。

だが、我々の一大結束を以つて資本家の此の暴虐に對抗出來ると思はれるか、經濟的にも、政治的にも、今だ我々の實力は烏合の衆以上に出られまい。

五

勞働農民黨は成立した。勞働組合は之を內面的に支持すると云ふ。然し果して此の勞働組合現勢の支持に安心して無產政黨の發達と其の歷史的使命を希ふべきか。

更に六月二十日全國組合會議の會合は流會となつた。更に此の類の會議を起すと云ふ熱心家がありとするならば、我々は次の如き格言を守つてもらいたいと切望する。

即ち『我々勞働階級の組織は現在の力以上に力の擴大をなし得る保證あるに非ざれば、徒らに外見的組織の達成を希つてはならない。』

さて我々は以上諸種の問題を論究して來たが、然らば、眞に日本の勞働組合の行くべき道は如何を一考して見よう。

先づ第一に、產業別勞働組合として大體大丈夫だと思はれる勞働組合の發展が、其の現實の必要に引づられて、漸次產業別的に整理されて行くであらう。從つて此の如き可能性ある組合はより階級的努力によつて立派な產業別大組合として發展せしめ確立せしむる作樣が出現し來たるであろう。

第二に勞資の對抗關係は刻々にあらゆる妥協性を或ひは巧みに、或ひは露骨に取り去り行く從つて勞資の鬪爭は日日增大する。

之は今日の勞働組合に取つては只地域的に集中されたる鬪爭力に賴る外はないのだから、區別しなければならぬ產業別をのぞきたる他の勞働者は、一大合同勞働組合を固めて、經濟的鬪爭の有利なる轉廻を迎へるであらう。

斯くて變化を見るものは、從來我々の考へてゐた、聯合、同盟と云ふが如き漠然たる組織は一大組合組織の充實の重要性と云ふ合言葉の中に姿を消し、共同戰線と云ふことは、單に思想的一片の決議文の代りに、確乎たる經濟的基礎の上に、力ある光輝を見せる目標となるであらう。かくして我々は最後の言葉を見出すものである。

日本の勞働組合の發達の可能性は無限に存してゐる。それは勞働組合の本質を判然たらしめて眞に勞働者の生活と結びつけることによつて開拓出來る處である。今日本の勞働運動は、必然的に、勞働組合の本質を形成せんとして來た。

それは產業別的勞働組合への機運、一つは地域的に擴つて行く大組合主義への機運である。我々は之を研究し、此の必然性を眞面目に達成せしむる爲めに努力しなければならない。

此の本質化の後にこそ、無產階級政黨は基礎づけられる。ボルシエビイキと云ふ理論の勝利と、發展性のない科學的論說は今やフランスのフラン以上に其の價値を暴落せしめつつある。

ロシヤのソヴエートの戰術もよかろう。山川氏一流の無產政黨論も結構であつた。評議會即ち共產黨一派の革命的激論も至極結構だ。然し、それが我々の自信ある戰術と一致せざる限り發展可能性のあるものでない限り古びた敎文と共に過去の遺物としてしりぞけられなければならない。（七月二十六日）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會主義の旗下に集れ

神庭又之助

　私は諸君が十六七の愛すべき青年の卵であると假定する。諸君の友達の中でも、小學校を卒業すると同時に或ひは都會の商店へ行つた人もあらうし、亦朝日夕日に白壁の輝く金持の同窓は思ひ思ひに中等の教育に就いた事であらう。定めて諸君も在學時代は燃ゆるが如き求學心に其の胸を躍らせ幾度か父母に諒解を求めたかを私は想像する事が出來る。しかし、私は諸君の志望の父母の容れる所とならなかつた事を悲しみ、その原因事情の何たるかを亦知る事が出來る。

　愛すべき諸君は祖先傳來の青光つた鍬を握り、緑草の田野に出でけなげにも『かせぐに追附く貧乏なし』との小學校で校長に教へられた古諺を信じて、父母に安心を與へようと決心するに違ひない。しかし、諸君は未だに自家の經濟的地位に對して明確なる意識を有つに至らないたゞ純眞な氣持が、そう固く信じさせてゐる。

　戰場の様な耕作時期に、諸君の軟かい掌は破れ、白雲の峰青天にくづるゝ炎夏の田草取りに汗はしきりに流れるだらう。かくして諸君の辛酸は秋風の中にそよぐ黄金の波と變つた。

『酬ひられた！』と諸君は喜びに堪へぬであらう。しかし、數旬の後今迄見なかつた或る事實をまざまざと見せつけられ、或る一つの心の變化を感づるに違ひない。

　諸君は父が忙しいのにどこかへ出て行くのを目撃し、ひそかに不滿を感ずるだらう。私は諸君の父が何處へ行くかを知る事が出來る。時々孔雀の様に着飾つた若夫人や令孃が自動車のまゝ入つて行く門の中へ諸君の父は恐る恐る入つて行くのであるそして、小作料の輕減を賴みこむのである。しかし、その要求は冷笑の下に一蹴されるか亦は云ふに足りぬ程の温情的引下を受けて諸君の父は歸つて來る。

數日の後立派に表裝した米俵は車の上に積まれて出て行つた。

　諸君は其の米を引張つて行つたかも知れない。地主の大きな土藏の中にはあちらこちらの小作米によつて一ぱいに積みこまれる。かくして、諸君は家に歸り、淋しい米俵の數さ、屑米の量さを見くらべて、初めて小作人の悲哀を感づるに違ひない。

　そして、地主は不勞所得によつて贅澤な暮しをなし、朝から晩まで働きづくめの小作人には一年の一家の食糧すら殘らない程も搾り取られる事を思ひ、諸君は裏切られた様な失望を感ずるに違ひない。社會主義に進むより路なき素質が諸君の胸中に急に成長を續けて來たのである。

　諸君は一年か二年の農村生活によつて、中學生の友達が代數や幾何の問題を出されるより、

俯瞰録

▽　△

國民が塗炭の苦伸に喘ぐ此の不景氣に各大臣共、官吏の俸給値上げ案を抱へて狂奔す、かくて國民の負擔増々重し！噫善良なる國民こそ良い面の皮。

▽　△

軍隊の民衆化？青少年訓練遂ひに實施さる。噫！○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○ ○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○。

▽　△

宗教法案が實施されなば坊主を廢めると云ふ坊主多し。此の一言實に良く彼等が唱へてきた説教はたゞパンの爲めであつた事を如實に示す。

▽　△

製藥王星一、日本の法律は余りに資本主義的なブルジョア擁護であると説く。代表的ブルジョアにして既に之の言あり日本政府以つて如何となす。

▽　△

馬鹿に勿怪振つて矛定通り市長になつた伊澤某、就任劈頭の名案とあつて市電の値上げ案を出す。之れが彼等の口にする社會政策ではある。

▽　△

大家族主義と温情主義を標榜せる八千代生命保險の馘首社員結束して會社に押寄す。期待はせぬが。兎に角奮闘せよ。

もつと大きな社會的な問題に自然と遭遇し、其の解決を苦しむに違ひない。諸君が若し文藝を愛する人であつたなら、啄木の「働けど働けど尙わが暮し樂にならざりぢつと手を見る」の歌を思出すであらう。たゞ働け！働く者には貧乏は來ないと敎へられたが、今や實際に働いて見て、働く者がお極りの貧乏で、懐手の地主は遊んで澤山の金を儲けてゐるのはどうしたわけかと諸君はこう反問せずにはゐられない氣持に動かされる。

諸君は社會制度の不合理を初めは漠然と、しかし次第に明細に認めるに至る。諸君のこの尊重すべき意識は決して遊戯より出でたるものではなく、切迫せる現實の要求より醸成したものである。洵に古今の社會改革者はいづれも、現實の周圍が生んだ産物である。フーリエは、フランス國民が堪へがたき飢餓に苦しんでゐる時、澤山な小麥を海中に投ずる役目を受けて、痛切に私利を基調とせる資本主義の不合理を感じ一生を社會改革の大事業に捧げたと云ふ。

諸君の生産した大部分は巧妙に搾取され、地主の贅澤な生活に費され、或ひは都市の株に投ぜらるゝかする。

諸君は大多數の貧困が決して彼等の怠惰や無能の爲めに存在するにあらずして社會制度の現狀より自然的に發生するかを了解するであらう。

一方には貧民が寢るに所なき時、大いなる家屋は靜かに人無く眠つてゐる。飢へたる民が街路に陋屋に呻く時、食糧品は倉庫の中にぎつしりつめられてゐる。生産過剩だと資本家は生産機械を閉塞して、勞働者は投げ出される。しかし資本家的生産過剩とは、購買力に對しての過剩である。現在に於いては、眞の過剩は決して存在しないのである。

諸君は農村の小作人が苦しむ如く都市の勞働者も、同じ制度の下に塗炭の惱みを受けつゝある事を知るであらう。されば、諸君は提携して進むべしである。一切の〇〇〇は都市と農村の無産階級の握手によつてのみ達成し得られるのである。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

怯懦は進歩の障害だ。農民は其の傳統的保守觀念をもつてゐてはならぬ。しかし、我等は徒らに小兒病的に走つてはならぬ。〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

諸君は熱誠と思慮と勇氣とを鼓舞して大衆と共に進め。大衆は貧しいのだ。貧しい大衆ある爲めに資本主義は發展するのだ無産者の增加は資本主義を崩壊させる。其處に文明があり、進歩がある。自由平等友愛が擡頭する。

諸君は社會の進路を自覺した闘士だ。諸君によつて民衆は社會主義が社會の平和と富の蓄積の爲めに最善の努力をつくすものなるを知る。

諸君の吐く息は直ちに曉の空氣となる。言葉は進行の音曲だ。

諸君よ！社會主義の大旆の下に集れ。

▽　△

籠の鳥の娼妓待遇改善案 目下愼重審議中とある。部分的改善より、根本的に手取り早く解放しては如何。

▽　△

ブルジョア學生の穀潰し連、夏休み中の勞働なども手柄の樣に得意になつて宣傳してゐる。夏休みどころか年が年中晝夜兼行で働き乍らも、尙且つ食ふに困まつてゐる勞働者は一體どうなるんだ。

▽　△

民衆の直接行動大流行、知らず!! 其の依つて來たる所の原因は!! 自繩自縛の末路を辿るブルジョア政府の狼狽振り、見る人をして痛ばしの感あらしむ。

▽　△

東京驛で軍帽を踏まれた陸軍少尉某。眞赤になつて踏んだ少年を毆打負傷せしむ。由來低頭と決つてゐる軍人の本性を發揮して遺憾なし。正に代表的軍人として稱ふるに足る。

▽　△

由來七月は雜誌社の厄月、今年も恒例によつて無産者の雜誌總撫斬り。豈夫暑さの加減で役人の頭が狂ふ譯ではあるまいが、憲法で保障せる言論の自由もあつたものでなし。

▽　△

官憲の頑迷に慣り文士、出版屋等により發禁防止期成會生まる。成功すれば良いだらうが、相手が名に負ふ濱口ライチン。

▽　△

内大臣其他多數の貴官にからまる不敬事件暴露さると傳へらる。其の眞疑は知らざるも、内大臣等にして不敬とは果して何ぞ?。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

消費と不勞所得階級

吉田源藏

原始時代の人類は、自然物のみによつて充分に生活をして居た。水草を追ふて居たと云ふ所謂遊牧時代の民族とはこれ等を云ふのであらう。ところが時代の進展と、人類の繁殖するに從つて到底自然物のみでは、多數の人間が生活をする事が困難になつて來た。そこで生産と云ふことを行ふようになつた。卽ち人間の働く力を自然物に加へて種々なものを作り出すようになつたのである。

言ひ換へると、今迄のように自然に出來上つて居る巖窟や穴を家としたり、木の皮や、獸類の毛皮を着物にしたり、魚鳥類や、木の實果實等を食つては生活がして行けぬようになつたから、人間が働いて木を切つて家を建てたり、牛や馬や其他の獸類を飼つて殖やしたり、又田を作つて米を作つたり、綿を作つて糸を拵へて織物にして着物にしたり、肥料をやつて胡瓜や、茄子を作つたりして、自然に對して人間の力を加へて、自然物だけでは迚も、段々殖へて行く人間が生活して行けぬから、その足らぬ部分の補足をするようになつたのである。それが今日では補足ところでなく、全く人間が生活に必要なものは全部人間が力を働かせて拵へて居ると云つてもよい位なのである。

人間も始めに述べたように、自然物だけで充分に生活がして行けるなら別段に何にも汗だくになつて働く事は要らないのだ人間の數は殖へる一方で決して減らない。であるから自然物は足らなくなるのは當然である。人間は先きに生れようが、後から生れようが、誰だつて何人だつて、お互に殺したり虐げたりする權利はないのだ、だからこそ殖へて來た人間が、等しく生活して行けるように生産と云ふところの、人間が働いて物を作るような世の中になつたのである。此のように皆が皆生活して行けるような公平な世の中を社會と云ふのである、社會と云ふのは、人間お互が扶け合ふところの世の中を云ふのである。卽ち働き合つて行く世の中なのだ假令ば甲の人の食ふ米を乙の人が作る、乙の人は甲の人から着物を縫つて貰ふ、と云ふように働き合つて皆が皆食つたり、住んだり、着たり仲よくして行ける世の中を作つて行く爲めに各自が働いて行く、これが社會なのだ。

であるから社會と云ふものは人間の働いてゐる力から出來てゐる譯になる、人間の働きの力……それは一體何であらう、言はずとも知れてゐる勞働である．卽ち社會とは人間の勞働から成つて居る人類の共存共營體なのである、隨つて社會と云ふものは、何處の誰の國だとか、何樣の天が下だ等と云ふ所謂境界や區別のある可き筈がないのだ。一樣に何れも各人が勞働してお互が扶け合つて行く可き社會なのだ、よく言ふことだ『人は社會を離れて存在し得ない』と云ふのは斯う云ふ意味に於ける社會を云ふのである。隨つて『社會問題』と云ふのも、とりもなをさず勞働の問題が大部分を占めて居るのである。勞働の問題とは勞働するところの人間の問題であつて、つまるところ人間の問題に落ち付くのである。社會問題と云ふのは決して戀愛の三角關係や、四角關係を喧しく論議することではないのだ。

勞働問題が常に社會問題の中樞に位する、重要な問題であるのは、社會が勞働の結晶體であるからだ。文化社會と謂ひ、文明社會と云ふも總べて勞働力が自然力に加つた結果なのである人間が社會の爲めに勞働することを吝まないのは、人間各個人が社會から平等に、公平な幸福な生活を保證される事を條件とするからである。これあるが爲めに社會は尊いものである。文明の今日に於ける生産が、社會化したのも此の意味においてゞある。社會的生産は云ふ迄もなく社會的勞働によつて、社會的生産を行ふのは、社會的な消費

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を目的とするからである。社會的の消費……これが即ち萬人が公平平等な幸福な生活をする事なのである。若し社會と云ふものが斯ように成り立つて居るものであるなれば、生活に困るものが出來る譯がないのである。爾來生産は社會の名に於いて發達して全く社會的な生産組織になつた、勞働者は社會的なる名の下に努力して來た、けれども一向働く者は生活が樂にならない、樂になるどころか、働けば働く程貧乏して來る、今日此の頃なんか其の日の生活さへも出來なくなつて來た。

　社會の爲めに働いて、文化とか文明とか云ふ立派な社會を勞働の力で拵へ上げて居ながら、何故働いて居るものが生活に困るのか、何故益々貧乏して行くのか、これは大いに働く者の考へて見ねばならぬことである。兎にも角にも現在社會が成立してながら、其の社會の爲めに多數の勞働する人間がありながら其の勞働者が生活がして行けない、益々貧乏して行くばかりであると云ふのは、現在の此の社會の何處かに必ずや間違つたところがあるからである。

　要するに現在の社會は、人間がお互に働き合つて社會と云ふものを作り、此の社會から總ての人間が平等に公平な、幸福な生活を保證して貰へる、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

　勞働するものは、いくら勞働しそして生産をしても、その生産物を、扨て消費しようとするときになると、『ざつこいそれは勞働者不可ない、生産するのは勞働者であるお前達の役目だが、生産品の處分に就いては俺達資本家の勝なのだ、然し資本家だつて必ずお前達には消費させないと思つて生産して貰つたのではない、儲けようと思つてやつて居る仕事なんだから買つて呉れる人達は勞働者だらうが、學者だらうがお客樣だ、お前達が勝手に生産品を處分する事はお斷りするが、お金を出して買つて呉れるなら幾何でも買つて貰ふ、お金を持つて出直して來給へ』と言ふ。そして勞働者が生産したときの値段の十倍も二十倍ものお金を持つて來いと云ふ、だから自分等が拵へた品物でありながら買ふ事が出來ない。恁んな譯であるから勞働者は働きながら貧乏して居るのである、恰度一時間五里の速度で流れている急流を、一時間二里の速力のボートで上つて目的地に行かうとするようなもので、却つて一時間に三里宛後へ戻つて、いつ迄たつても目的地へ着けなくて寧ろ段々目的地から遠ざかつて終ふのと同じ理窟である。それであるから今の社會のまゝで働いてゐるなら、勞働者は幾何働いても稼いでも、コンリンザイ生活は樂にならない。それではどうしたらよいか、資本家に泣き付いたつて駄目だ、彼等は儲け仕事にやつてゐるのだから、儲けが澤山あるときは目腐れ金の五圓や十圓は呉れるが、不景氣のときなんか勞働者が野垂死んだつて見向きもしない。彼等にして若し勞働者の貧乏を救ふと云ふ人情があるなら、今日のような金持ちにはなつて居ないのだ、今日の大地主や資本家が金持ちであるのは、人情なんぞ爪の垢程をも持つて居ない、其の證據には金持ちになつてゐるではないか。金持ちになつたと云ふ事は貧乏人になつた人を澤山作つた事なのだ。資本家が儲けようとするのは、勞働者を貧乏させようとする事なのだ、そんなものに泣き付いたとて相談に乘つて呉れる譯がないのだ。敵に會つて、お前が刀を持つて居つては俺が敵討が出來ないから其の刀を俺に呉れと云ふのと變りはない、敵が刀を持つて居るなら弓でも自から都合して掛らねばならない。敵の力は敵の爲めの力だ、そんなものは頼みにならぬ、頼みになるのは自からの力より外にはないのだ。

　ブルジョアーなんて云ふものは、全人口の一割にも足らないのだ、お互勞働者や小作人は全人口の九割以上を占めて居るのだ、此の力で鬪つたら乾度勝てる、團結して働くもののみが消費しよう。働かぬ奴等には米一粒、澤庵一切與へるな、明日と云はず今日から、たつた今から團結しようではないか。ピーターの像に掛けられてある『大馬鹿者の標本』なる立札は日本にだつて建てるところはあるのだぞ、確かりして呉れ全無産階級よ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブルジョア的教育を排す

小森善逸

一

ブルジョア階級が、その墓穴に入る運命の斷末魔の日の苦しみを、せめて一日なりとも遲からんことを希ふ所から、彼等は協調主義、改良主義若しくばブルジョア觀念の上に立つた社會政策等の凡ゆる手段を盡して、ひたすら彼等階級の崩滅の防護に努めてゐる。吾々が今玆にブルジョア階級が勞働者教育の方面に於て、如何なる方策を取りつゝあるかを考察せんとするものである。

先づ第一に、吾々勞働階級より永遠に絶對に教育機關を奪つて置くことが、果して彼等ブルジョア階級に取つて有利であらうか、若しくは吾々にブルジョア文化社會に於ける文化人として相當の教育を授けることが彼等の崩滅期をより延長し、從つてその墮落文化の夢に醉つてゐることが出來やうか否かである。換言すれば、勞働者を教育することそれ自體が、彼等支配階級に取つて是か非かと云ふ問題である。

吾々はこの問題を論究せんとするに當つては、今日より見たる勞働問題の結果より這入つて行かねばならぬ。今日の勞働問題の因て起れる源は、産業革命の結果、無政府的資本主義經濟制度の發生となり、その制度の缺陷として未だ曾て何れの制度の下に於ても見る事の出來なかつた一大貧困階級を生じた。その貧困階級——即ち勞働階級——と現代社會の統率者たる富豪階級との間の經濟關係の衝突より起る一切の問題が即ち今日の勞働問題である。

この勞働問題が激成し又は沈靜することが何に起因するものであるかを考究することは、ブルジョア階級に取つて、特にブルジョア階級を忠實に辯護することに依つてパンの惠みに預つてゐる協調主義、改良主義、又はブルジョア觀念の上に立つた社會政策等の平和主義の白旗を掲げてゐる御用學者共には極めて緊要なことである。

二

何れの國に於ても初期の勞働運動に於けるストライキは、常に暴動化し、工場の占領、機械の破壞、又は人身に關する忌むべき不祥事を惹起した。それは當時の資本家が無智な勞働者を動物の如く虐使したが爲に、勞働者も亦野獸の如く資本家共に嚙み付いたのであらう。斯様にストライキの暴動化することは資本家の殘忍な暴壓にも因るが又勞働者が一般的に無智であつたが爲に、それ以外に何等取るべき手段を知らなかつたことにも多分に因るであらう。

一例を以て云ふならば、昨年の五月上海並に廣東に起つた紡績勞働者のストライキの大暴動化の如き、今日の支那の資本主義が未だ發達の初期の段階にあり、一般勞働者の比較的無智であることを明かに立證してゐるものである。又今度の英國の炭鑛業勞働者のストライキの如きかくも偉大なる全國的總同盟罷業になつたとは雖ども、極めて平穩に一糸亂れず組織的に堂々と戰ひ、而してその目的の勝利を得るに最も有利の結果に導いて行つたことは、何としても彼等の長い間の運動に於ける訓練と幾多の貴い犧牲を拂つた苦い經驗との賜と云はねばならぬ。

勞働運動の發達の初期にありそして比較的勞働者が無智であつた間は、勞働者は常に直接行動に依つてその目的を達せんとしたが、それが次第にブルジョア社會の發達と共に、戰術が巧みになり、勞働運動の正義なることを社會に訴へ、一般民衆及び社會思想家の辯護の力に依り眞の意味の合理的手段に依り、又は政治行動等に依る間接行動に依つて、最後の勝利を得るやうになつた。之れを要するに、勞働階級は無智であつても、又は比較的知識を得て來ても、やはり資本家階級に反逆を續けて來たのである。唯その反逆行爲の暴動的のものであつたのが、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組織的のものとなつた——他の言葉を以て云へば野蠻的のものが、よく文化的のものとなつただけに過ぎない。之れを以て見るに前者は無意識的行動——慾望の本能に支配されて爲す行動——であり、後者は意識的行動——批判的行動——である。

この故に勞働者を無智で置くことも、又は相當の教育を授けることも、何れも資本家階級に取つては危險である。然らば勞働者を一體どうしたならば彼等に取つて最も有利なのか。

三

この以後の問題である。御用學者共が拔群の功名を立てる所は。それではどうしたら、この問題を解決することが出來やうか。まあまつてくれ、今解決の鍵を見せてやらう。資本家共が明けても暮れても忘れられない勞働問題に就ての惱みは、勞働者が人間であることである。勞働者が人間であるばつかりに『吾れにパンを得へよ、然らずんば死を得へよ』などゝ彼等に取つてはとんでもないことを云ふ。こゝに於てかつら〳〵資本家共は思へらく『噫！若し勞働者が人間でなかつたならばなあ！』と。こゝだ、御用學者共が國家の爲に、ない智惠を絞る所は。然しそれはいと易いことだ。勞働者を人間でなくすることだ資本家共の爲に利潤を産む、即ち黄金の卵を産む、一種の動物とすることだ。それにはどうすればよいか。それはこの世の中に勞働者だとか資本家だとか云つた樣な、階級なんかあつてもない樣に勞働者に階級的敵慨心を生ぜしめない樣に、軍國主○○○○○、○○○○○○○○○○○○○、○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

四

勞働者をそうせしめんが爲にブルジョア階級は、詭辯哲學に依り、阿片宗教に依り、軍國主義思想の鼓吹に依り、凡ゆる手段を盡してゐるが、果してそれに依つてその目的を達することが出來やうか。吾々はその結果に甚だ多くの疑問を抱くが、唯だマルクスの唯物史觀に於ける次の言葉のみは堅く信ずることが出來る。『……一言にすれば、社會の經濟狀態が社會主義に向つて成熟して行くに從つて、勞働者の資本家的觀念が社會主義的觀念に變つて行くことは避く可からざることである。』ブルジョア文化の花の咲き亂れ、その色香の薫る爛熟の春の長閑な日の永遠に續くを誰か期し得んやだ。この世の中に何とてブルジョア社會のみが變化し得ざらんやだ。今日の自分は昨日の自分ではない。あしたの自分は、今日の自分ではない。吾々の肉體を構成する分子は刹那々々に變化して行く。絶へず新陳代謝をしてゐるのだ。その如く人間の構成する社會も亦同じく絶へず新陳代謝をして行く。唯に現代社會の存在することに依つて益する支配階級のみがその永遠の存續を人爲的に計らんとして、公民教育の名の下に、プチ・ブルジョアイデオロギーを注入し、愛國心の名の中に軍國主義を鼓吹し勞働者の階級的敵慨心を痲痺し、プロレタリア・イデオロギーを毒せんとしても、それは大自然の進化法則に從へば單なる一時的の彌縫手段たるに過ぎない。勞働者教育の是非も斯くては是非もなしだ。

恐る可きものは歴史的必然の力である。（完）

進め戰鬪歌（赤旗の譜）

（一）
黄金によろはへる
資本の牙城はかたく
壓制に惱みつつ
吾等が鐵鎖はきれず

（折返し）
いざ進め〳〵
農村に工場に
突撃の聲高く
鬪ひ今やせまる

（二）
○○の雲きれて
軍閥夢はさむく
黎明の鐘のもと
ブルジョア挽歌ぞ響く
（前節繰返へし）

（三）
立ち上れ同胞よ
正義は今ぞ燃ゆる
○○の日は近く
未來は吾等のものぞ
（同　繰返へし）

（四）
振りかざせ赤旗を
よろこびの聲そろへ
民衆は野に山に
凱歌を今ぞ擧ぐる
（同　繰返へし）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

慘敗の富豪

吾茨城縣は村會議員から多額納稅議員の選擧に至るまで一回でも違反者を出さなかつた事は殆んどない。尤も何時の選擧でも政府派は如何に買收をしても官憲は擁護こそすれ選擧違反として檢擧する樣な事はないのだからゆつくり買收が出來るのだ處が一方野黨派から立候補なしたらそれこそ大變だ。如何に人格者でもどんな立派な人間でもあらゆる干涉を官憲から受るので當選は至難である。處が本年六月三十日執行した多額納稅資格議員補欠選擧に頗る面白い場面をみた尤も之れは當然の歸結かもしれないが、と云ふのは政府黨たる憲政派からは茨城縣第一の金持として否守錢奴として聞いてゐる宮本庄次郎が五月十五日頃早くも名乘りをあげ運動に着手したが政友會並に政友本黨では政府の干涉を恐れて立候補する者なく宮本の獨舞臺としてないた處が、恰度選擧執行日より一週間前に迫つた六月二十四日單身野黨から飛び出した男があつた、それは瀨谷勇治郎と云ふ人である縣民の殆んど全體は無暴な男だと瀨谷氏を笑つた、が然し憲政會否官憲に對し又宮本に對し面白からぬ心を抱いてゐた一般縣民は一勢に瀨谷の當選を心に祈つていた、祈のためか二十八日朝あたりから全縣に亘り宮本不利の聲が大きく擴がつて來たため官憲は猛烈な干涉を加へて宮本は盛んに十八番の行爲をしたが開票の結果は二點の差で瀨谷氏の勝利となつた吾々は此の一時を以つてしても如何に一般人民が富豪と官憲に對し惡感を以つて居るかと云ふ事を察知する事が出來る。（茨城縣　好爲生）

民衆の敵を射よ

狹い新潟に日刊新聞は五ツもある「新潟民報いりません」と云ふのは印刷紙數三千枚の內から出る千七、八百の讀者のほんとうの聲である。

何故であるか、それはどれも、これも舊套のぬけない、それに民衆に立脚しない、資本主義的軍國主義の御先棒擔つぎの新聞にすぎないからだ。その最も代表的なものたる——新潟民報——は、十萬餘の新潟無產民衆の等しく唾棄して止まぬ新聞である。今直ちに「三號新聞」の後に準じて廢刊して貰ひたい。

それは去る七月十四日、新潟民報一面「ペンノシツク」に佐倉の暴君よりも一層苛酷、强慾、橫暴な殺人鬼地主眞島の野郎を、道理も情けをも知る溫厚の紳士とは、食ふにもこゝとかいだモルヒネ交りの芋羊羹かネ。

私はそれを讀んだとき、胸がムカムカして來て、二面三面と讀まずに便所に捨て、早速「新潟民報いりません」と貼札した、爾來見ない。

一體何が「日刊新聞の權威、眞夏の輝く太陽の如く新論陣を張れり!!遠大の抱負を以て、進取敢爲の青年同人」（これは民報發刊の際のカレンダーのモツトーなり）であるか？

彼新潟民報——吉川さんと永井某こそ、新潟市民の公敵！文化の阻害者！民衆ブローカー！羊頭狗肉のカラクリ屋である。

又日本農民組合關東同盟新潟縣聯合會主事三宅正一君も正一君だ明メクラでもないのに、甘んじて農民ブローカーと迄辱かしめられつゝ敢て、反駁もせず等閑視したことは確か勞農リーダーを氣取る、三宅君として如何した事か？僕は無產民衆の殿のため、はた又、同君のため、心ならずもその怠慢と不忠實を責めざるを得ない。

以上の故を以て、新潟民報の廢刊を望むと共に、三宅正一君の勞農リーダー振りに反省を促すものである同志よ、無產階級諸君よ此二ツは何んとかせればならない。

（新潟　齋藤生）

咄！此の分沒漢

おゝ全國の兄弟よ目覺めよ、我等プロの前には軍教と云ふ立派な眼目で巧妙な網が張られたんだ。其綱の巧妙なる事には感心する。我等プロに其れだけの頭があれば社會は遠い昔に我等の物になつてゐる。七月一日の開所式に僕は行つて見た。一官憲立ちて曰く「地方の青年にして社會主義者あらば其は詐欺の被害者である、となぜならば中央の主義者は詐欺師だと。又地方の主義者は其ブローカーの被害者であると其被害者は多く青年にあると。」おい兄弟聞け世の中に此樣な分らぬ低能官吏があるから思ふ樣に行かないんだ。目覺めよ兄弟、と云ふ前に目覺めよ官憲と云いたいんだ。彼等はどの階級に屬するか。おゝ兄弟起て、其して振へ此鐵拳を。此双腕を。彼等の頭上に。（長野北安支局　傘木幸盛）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

不用な人間

滅切り暑くなつた。富裕階級や、有閑階級共は頻りに大山登山だ、階生温泉へ避暑でござる旅行で候と自分の仕事場を離れる遊民——こんな時だ本當に社會に大切有用な人間と、不用の長物との區別が……「ハツキリ」とわかるのは……暑さ寒さで休めるやうな仕事の部門は、人生に無くもがなの仕事に屬する遊民の彼等が避暑に行つて居ても生産は行はれ……社會生活は立派に營まれる。これが彼等の不用を雄辯に語つて居る。こんな奴等は家内中避暑に行つてみんな死んでしまへ……桑のこやしにでもシテヤル——社會にとつて得する所は多いが。損する所は少しもない……生産を全廢して消費を幾層倍する穀潰しの遊民の彼等が居ないならば社會は、全人類は如何に仕合せとなり、幸福になるであろう。無産無閑の俺等は　とても悠々避暑等の騷ぎぢやない、赤い顏も黑く、山陰米子では俺等火葬場行の立候補者餓死連が、こんな氣焔でも揚げて僅かに、憂欝を晴し、焼きつくが如き、炎熱を排するより外はない遊民共よ今に見ろ——だ。

（鳥取縣　服部芳象）

此の暴法を見よ

朝鮮總督府當局が昨年末以來冷血鬼に等しき資本家階級と無理解なる下級官憲の彈壓と極度の不景氣とに愈々その生活が窮迫し、僅かに生存の餘韻を内地に向つて求めんとしつゝある鮮人勞働者に向つて、先年一時施行して惡評天下に冠たる内地渡航制限を再施しつゝあるは、明らかに人類共存の大義に反するものであつて、吾々無産階級の斷乎として排斥せなければならない問題である。而して該制限は一平巡査の任意事項であるを以つてその間幾多の情實が纒綿し、惡德行爲が行はれ易く又事實に於いて行はれたるために先年の制度が廢止されたのである。然るに今又斯くの如き惡法が再施されるが如きは明らかに彼等支配階級國家の失業問題に就いての不誠意を意味し、何等の定見なきを雄辯に物語つてゐるといふべきである。殊に先年の制限は當該巡査の署名ある「内地渡航證明書」なるものの下附を要したるを以つて、その署名のために惡德行爲も比較的容易に看破し得たるに反し、今回は何等の書式なく口頭のみの許可であり、僅かに旅行切符の檢證に止まる位であるが故に非常に巡査の惡德行爲が行はれ易いのである、現に自分が慶南馬山警察署に於いて目擊したる事實等によつて如何にその職にある官憲が、その時の氣分によつて、出駄羅目な處置に出でるものなるかを痛感したのである。尙該制限は一種の人間生存權剝奪である。かつて米國が排日法を實施したるとき鼓を鳴して攻擊した賢明なる日本の政治家によつて、同一國民である　朝鮮には帝國憲法が延長されてゐない故に日本帝國臣民に非ずと云ふかも知れないが——朝鮮人勞働者に對して米國の排日にも勝る暴壓を加へつゝあることは如何に彼等が詭辯を弄しやうとも蔽し切れざるブルジョア専制政治の曝露である。

朝鮮勞働者の生活は實に悽慘のドン底にある。殊に農民の生活は生きてゐることが既に一つの奇蹟である。カラリと晴れた春の日、朝鮮の田舍を旅行するものは、それが海岸であるならば磯邊に白鳥の群の如くに多數の女が何ものかを漁り居るを散見するだらう。農村の路傍ならば三三伍々子供が若草をつみつゝあるを見るだらう。濱邊の貝類と路傍の雜草の芽とそれに一合か二合の米か麥を入れたる雜炊——これが一家數人の糊口を凌ぐ唯一の糧なのだ！陰曆正月のすむ時分から六月麥の收穫されるまでこの間が朝鮮農村勞働者の最も苦しい時である。毎年三月から五月頃にかけて營養不良のために死亡し行く人間は夥しいものである！、學校の生徒が空腹のために勉學に堪えかねるといふことは内地にも時折はある。しかしそれは時折であつてそう云ふことが發見された時はいつも直に救濟されてゐる。然し朝鮮の農村ではそんなことは決して珍しくはないのだ。空腹のために路傍に氣絶するやうな學生もざらにある。働き得るものは食はないといふことによつて勞働力が出ない故に、常に空腹を忍ばればならぬ境遇にあるものは、勞働力なき子供と老人である。何といふ有がたからぬ、世の中ではないか！　一日の勞働賃金が最激務の自由勞働で一日八十錢内外、普通農村の日傭は四十錢位である。それも毎日はない。どうして一家の生命が支へられやう。生命の延長を内地に求めるのは實にこんな生死のドタン場からなのだ！　生きたいと云ふ人間の本能を抑止すること程この世の中に罪惡があらうか！　それは正しく間接の殺人である。斯くの如き間接殺人の朝鮮勞働者渡航制限法は文化政治を誇るブルジョアー總督府の面上に叩きつけるべきだ。この暴法、惡法によつて、秘かに微笑を洩らしてゐるものは、陋劣極まる吾等が戰線に於けるスカップのみだ！。

同志諸士よ！

朝鮮勞働者の内地渡航制限は實に正に餓死せんとする人間に對する冷酷なる鞭であるのだ。吾等は正義の血に燃ゆる全國の同志諸君に訴へて斯くの如き暴法撤廢のため、机上の空論でなく、徒らなる聲のみでなく實行運動に着かんとするものだ！。鮮人同志諸君よ！同胞は正に餓死せんとしつゝあるのだ憤起せよ。

（朝鮮　瑞地楨）

茨二〇〇を監視せよ

◇世の中に矛盾とか撞着とか云ふものがありとせばそれは今日より甚

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だしきはない。なぜならば吾々が一寸した意見の相違から他人或ひは親子でも爭論して其結果感情が興奮して相手の者に對し少しでも傷害した場合、當人同志は仲よくなつても警察では之れを放任しておかず一應取調べて其上極輕くて書類を檢事局送りとして、大低は傷害罪として罰金刑とし、茲に立派な前科者となるのである。又小學校では生徒に對して鬪爭をしてはならぬと教へて居る。併し鬪爭をしてはならぬと教へてゐながらも歷史にはどんな事を教へて居るか？中等以上の學校では何の爲めに軍事教練を學課に入れて置くのか。之れは事新しく云ふまでもなく○○と○○の下稽古でなくて何んであらう。○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○。

◆地方の警察署長に獵銃を持つ事は出來ない相である。然し乍ら同じポリスでも警察部長は部下を連れ獵師のまねをする。他縣はどうか知らぬが我茨城縣では知事内務部長警察と云ふ連中は何所へ遊びに行くにも茨二○○と云ふ縣廳備付の自動車で遊び廻るのだが彼等が遊びに行く道具の費用を強制的に支拂はされる縣民こそ實に好い面の皮である。

◆現在我國の新聞はどの新聞もよく鋒を揃へて農村振興策云々と云ふ樣な事をよく書いては居る樣だ。だが之れはほんの人氣取にやつて居るのである。吾々無產者の味方ではなく悉く資本家の新聞である。其の凡べては資本家の御用新聞である。故に吾人は眞に吾々の味方である本誌を唯一の力として猛進せねばならぬのである。同志諸兄姉よ、共同一致以つて有らん限り猛進奮鬪して之等資本家の御先棒擔ぎである處の新聞紙を放逐し眞に吾々の味方なる正義の新聞なり雜誌なりの力とならうではないか。我茨城縣に立正新報と云ふ乞食新聞がある。月一回發行の此の新聞の社長は石川高久と云ふ人間であるが此の男が去る七月十五日發行した新聞に「アナ〃〃系の講演を聽いて」と云ふ見出しがあつたので私は珍らしい見出しと早速讀んで見ると、それは去る六月二十日水戶市に於て多數の主義者が舌端火の如き氣焰を吐いて地方官憲を驚かした事に對し「吾等は彼等の撒いた餌をウッカリ喰ふ樣な輕卒な事をせぬ樣に注意しろ」とか「彼等が說く處の嫌にピカ〃〃したペンキ臭きアブナッカシイ理想よりはガッシリした漆塗の底光ある理想を現實化しむる樣努力せればならぬ云々」と云ふ樣な取止めのない事を盛に書いて主義者の惡口を並べてあつた。私は石川社長に詰問したい事は何處が「アブナッカシイ」のか、それよりか君達の樣に乞ひ錢をせんが爲めに斯かる輕卒な理論に立脚した惡口を書いて五十錢か一圓かの端た金を貰つて隨喜渇仰して資本家や官憲の提灯持のみして居る人間共の方がどれ丈所謂アブナッカシクそして愚者なのだ。古い言葉だが他人の事より自分の頭の蠅を追ふ方が好い

（茨城縣　川田紅葉）

關西勞働組合第三回大會

關西勞働組合同盟第三回大會は大阪市東成區大道倶樂部に於いて去る六月十六日開かれた。立憲勞働黨脫黨以後、始めての大會とて多數の代議員は勿論、組合員總出で場内立推の餘地なき盛大裡に、印刷向進會の西林孝三郞氏が開會の辭を述べ、各種委員の任命、經過報告其他各種議案に熱火の論爭として、花を咲かせ恰一時に至り無事閉會した。改選役員及び宣言左の如し。

會長　宮木純一
常務　西村孝三郞　竹本米吉
執行委員　篠原鶴赤　才一
關谷　茂　原田與一
福島金之助　小鹿繁行
天平松二　栗田健太
藤本　木下熊吉

宣言

關西勞働組合同盟第三回大會に資本主義の現狀及勞働運動の現勢に鑑み、吾人の任務を次の如く宣言する。

今や國際資本主義は崩壞の一路を辿つてゐる、大戰後の列國資本の必死的攻勢は上り來る一時的若干の安定は最近に至り再轉し、以前に數倍せる軋轢と鬪爭を繰り返しつゝも尙プロレタリアーの犠牲に依つてその沒落の危機を克服せんとしてゐる。從つてブルジョアの反動的壓迫政策と僞瞞的懷柔政策とは益々強く行はれんとしてゐる國際資本主義の一部として發達した日本の資本主義も亦同樣である。

加ふるに大戰後の恒久的恐慌は企業の合同資本の集中を急速ならしめ、金融資本の獨占的支配を生むに至り、日本資本主義の特徵たりし小企業小資本の倒壞を徹底せしめた、その結果は街頭に未曾有の失業者を溢らし、全勞働階級の勞働條件を著しく底下せしめた同時に資本帝國主義的反動政策は第一に治安維持法となり續いて暴威取締法、爭議調停法として現はれ、更に勞働組合法の名の下に現出せんとしてゐる。壓迫と懷柔、僞瞞と詭詐、是等一切の勞働階級の壓伏を目的とするブルジョアジーの陰謀は白晝公然と行はれ、更に加ふるに最近に於ける反動的暴力團體組織の全國的擴大は、吾等勞働階級の組織そのものをも破壞し、以て勞働階級を永遠に賃銀の鐵鎖による資本の奴隷ならしめんとするブルジョアジー最後の暴擧に外ならぬのである。

顧つて吾國勞働階級の戰列を見よ。

各組合共にその勢力は次第に擴大しつゝあるとは云へ全勞働者四百

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬中組織されたる者僅々二十數萬な出です。失業反對、勞働立法對策等を始め國際的及國內的爭議並にその後援に於ても、全勞働階級の集中せる勢力と統一ある共同戰線の必要切實なるに係はらず、最近に至つて漸く勞働農民黨の樹立と大阪勞働組合會議による全國組合會議の提唱を見たのに過ぎず、前者は未だ組織中にあり、後者は此れ又完全なる勢力の統一を見るには前途に幾多の難あるを知らればならぬ。

斯くの如き情勢の下に於ける我等の、任務は、內部的には、組合同盟の組織の充實をして、階級的訓練と階級的教育とを徹底せしむると共に、一般的には未組織勞働大衆の組織、全國組合會議を通じての總聯合並に產業別合同の完成、勞働農民黨の積極的支持より政治的共同戰線等によりて、勞働條件の底下反對、失業反對、無產階級暴壓法令の撤廢等に全力を擧げて努力し、以て勞働階級の生活向上を圖り、同時に勞働階級本來の歷史的使命貫徹に向つて邁進することを全勞働階級に誓ふものである

一九二六年六月十六日

關西勞働組合同盟第三回大會

（大阪　宮本純一）

噫！此の矛盾

わたしの地に目覺めて居る青年の未だ餘り少いのを痛感する。地主共が何んで我々にとつて有難いのだ。

或人は云ふ、地主ある故に、土地を作らして貰ふ故に、我等が生きて行けるのだと。だから正月が來ても碌な酒も餅も食べやしないのだ。見ろ彼等の日毎夜每のなまけ振りを炎天下の熱湯に腰を曲折して終日彼等の米を作る爲に漬つて居なければならぬとは何たる慘めさだ。此の間俺の近隣の呉服屋へ、夜更けて忍び込んで手提金庫を强奪して逃走した曲者が何者だつたか。それが爲に彼等犬共の血眼振りはどうだつたか。それが地主の小倅なる故微罪不檢擧とやらで煙にしてしまつたではないか。小作人の悴が一俵の米を間違つて精米所から持つて來たからと云つて、懲役一ヶ年也の體刑の有難たさだ。い〻人民保護だ魚屋の裏口へまわれもつとうまいものが澤山あらうから

（福島伊達　安田泰輔）

愚衆資本家走狗共

日々の新聞を賑はす共產黨赤化宣傳第二大逆事件等々、或は危險思想外來思想と稱し、ブルジョア居城に風波を起す社會主義者なぞば國賊非國民と稱して蛇蝎視し、無產階級の勃興を全く社會主義者の煽動に歸する愚なる御連中を未だに見る、否未だ所でない。當のブル連はもとよりだが、相當學識ある御用學者新聞屋教育家、まだある生臭坊主ボリ……果てしがない。短く言つたら死にそこれの資本家と其奴の走狗だ。果して然るか。

手前共！飯びつに嚙りつきやがるが、嚙りつくから腹がへるんか、腹がへるから嚙りつくんか、一體どちらなんだ。

治安維持法を百作り、憲兵、巡査共總掛りで社會主義者の親玉を片端から虐殺して井戸にほりこんでも社會主義の種は盡きめえぜ！　小にしては獨逸に見大にしてはロシアに見ろ！それこそ急轉直下だ。嘘と思へばためしにやつて見ろ。然し光榮なる東洋第一の樂園資本家國ではボツボツ試驗中だ、とか。

御用學者教員共の煽動につけ上つた道樂選手のブル小倅共の言ふ事が面白い。曰く「健全なる身體に健全なる精神宿る」社會主義者は不健康體肺病だつて！　民衆を餓死せしめる術で、その搾り取つた血と膏で贅澤三昧にほくそ笑み倦く事を知らぬ貪慾に爪牙を磨く餓鬼共のブルジョア心理を如何に低能でもまさかに健全なる精神とは言へまいぢやないか。又健康なつもりでもコレラ菌に侵されつ〻あるかも知れたものでない。健康な精神のつもりが、ひとりよがりの腐敗物かも知れん。がそれもまあ〳〵だ。めつたな寢言つてたらフイリツピンの極東大會とか、遠いヨーロツパのオリンピツクとか迄もやらかしてもらへなくなるからな！まあ折角提灯持ちもよからう。惡くすると口まで干上る。軍人も學者も教員も坊主も、ポリも米村も反動も皆似たりよつたりの同類だ。此奴等は之が商賣か知らんが、其奴らの尻馬に乘る運動青年とか愚衆とか言ふ奴こそい〻つらの皮だ。

アメリカの移民排斥に憤死し尼港事件の復讎に海賊を働く。賣名の爲殺人を侵しその罪を恐れて幼兒迄虐殺したる國士、その又ボロ糊を稱のドラツク音松の敗據！　日出づる國の資本家、未だ多幸なる哉だ。

濠、亞の排斥に猥猛し俄に人種不等正義の悲鳴を上ぐるブルジョア政府、之に和する自稱憂國正義の士諸君！泡をとがむるに先だち自らを省よ。眼を開きて先づ諸君の禮讃するブルジョア政府の行動を見よ。正當なる無產階級解放運動の非道なる迫害、水平社員三百萬の侮蔑酷遇、朝鮮民族の壓伏、弱小國に對する不平等條約、不當搾取！更に大正七年○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○、○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○、○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

彼を見是を見ても尙外に向ひ正義を叫び平等を要求せんとするか！自稱愛國愚衆正義の士諸君以て如何と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

なす。諸君目前のパンのみの爲たらず眞に熱血に燃ゆる正義の士ならば先づ起つて不正不義の權化、現支配階級の撃破に當るべきではないか。

他人の放屁に鼻をつまみ、自らの糞に平然たる、盲目不信の低能兒！

支配さるゝ事及び支配する事のみ知つて自主自治の念なく、歴代迫害と盲從怯懦、さらに自由平等を解せざる日の本の國！ 忠君愛國治安維持法の巨繩、和製イタムソ、青年軍事教育の徹底、國を擧げての軍國化！

幸なる哉！櫻咲く國の資本家！

かくして永へに榮へてあるか！

（高知縣 N・K生）

滿洲の勞資戰

過般滿洲一帶に亘つて到る所に爭議勃發し、從來勞働界（といふより寧ろ資本家側）の安全地帶とまで看做されて居た土地柄丈けに、一般の驚愕と脅威とは相應大きなものであつた。

爭議原因は、當時既に報導された樣に、

（1）當地一般支那勞働者の賃銀は奉天票を以て支給して居るが、例の奉郭戰後奉票暴落し、從前（昨秋）金票（日本貨幣）對奉票一圓對一元六十五仙程度であつたものが今や一圓對二元七十餘錢に下落したる事

（2）且つ物價騰貴し（金票で換算してすら）結局奉票を以てすれば昨秋に比し、生活必需品物價四割五分程度の騰貴を來したる事

等で、此他露國赤化の手が伸びて居る結果だなど傳へた者もあるが、實は在哈露字紙などが罷業團に同情の筆を執つた事や、從來輕視して居た苦力團體の態度が餘りに強硬な所から、何者か裏面に糸を引く煽動者があるに違ひないといふ臆測などから來た說である。要するに「赤化說」は疑心暗鬼の類で、資本家心理、警察心理、新聞記者心理などの競合から來た滑稽至極な爭議の副產物に過ぎなかつた。

簡單直截に、其の爭議原因を一言すれば『食へないからやつた迄での事』である。かくて從來馬鹿にし切つて居た滿洲苦力と雖、その必要に直面すれば、假令敎へられずとも、また所謂思想の持合せは無くとも見ごとに遣るべき丈けの事はやつて拔ける氣前と實力とを十分備へて居る事を立證したのである。しかも彼等の要求は大體に於て殆ど全部を貫徹し得たのであつた。左に重なる爭議結果を列記する

一、本溪湖煤鐵公司（二月初旬）大倉組並支那側合辦工場、此罷業を皮切りに各方面に火の手揚る、奉票暴落に依る賃銀値上、參加工夫六百名、臨時手當本給の三割前後支給に依り解決

二、在奉天南滿製鐵臨時手當支給に依り解決

三、在奉天滿洲製麻賃銀の永久的五割値上要求罷業約三週間附近支那村長支那商務會日本側警察調停臨時手當として要求額支給に依り解決

四、大連機械奉天工場臨時手當日額二十錢（奉票）支給解決

五、在奉滿蒙毛織七割五分增賃要求五割五分程度で解決

六、在營口東亞煙草二月十日より罷業三月五日全部解雇再募集同十日より操業二割五分增賃

七、奉天兵工廠支那官憲强制操業但二割增給

八、奉天英米トラスト煙草工場（英米人經營）數日怠業指導者奉天省城勞工會長王篠山上海系統職工多し增賃解決

九、奉天大安煙草公司（日人經營）爭議前二割前後增賃

十、安東挽材罷業增賃解決

十一、京奉沿線 靑堆子 生々榮 公司（支人經營）女工二百罷業三割增給解決

十二、營口三明榮公司（支人經營）女工四百名增賃解決

十三、營口化粧品製造遼大公司、同上解決

十四、營口油房（支那人經營數工場）約一千名七割八分値上要求五割前後で解決

十五、鳳凰城靑城子久原鑛山四百名三十錢（奉票）値上要求解決

此他何れも增賃し解決したのであるが、勞働者側の强腰には、流石平素馬鹿にし切つて居た丈けに、資本家側は、聊か度膽を拔れた姿で、爭議終熄と同時に、所謂善後策樹立に努めて居る。その一事實として現れたのが『南滿洲工業者懇和會』の成立で、これは四月十八日奉天に於て組織されたのである。

同會發會當日なる四月十八日奉天公會堂に參集せる會員並に關係者は滿蒙毛織外三十一社の代表よりなつてゐる。

同會の組織要旨は

關東州外の南滿洲各地に本店支店若くは出張所を有し、職工又は人夫五十名以上を常用する工業者及之れに準ずる者を以て組織す

といふのであつて、明かに勞働者側に對する橫斷的戰鬪組織である事を聲明して居る。これに對する勞働者側の意向乃至對策は、未だ十分事實の上に現れて居ないが、彼等の間には、未だ殆ど何等の組織を持つて居ないといつてよい。たゞ今後彼等の戰鬪組織となるべき可能性を有する母體とも見るべきものは

（1）鏢式ギルド（包）

（2）奉天省城勞工會

（3）滿洲製麻職工茶話會（極めて微弱）

位ひのものである。たゞ常に勞働者の爭議策源地となるのは、奉天西方の勞働者部落『槪官屯』であるから此邊から何等か面白い一つの組織が生れはしないかとの期待を持たれてゐる兎に角過般の爭議は、南滿洲產業乃至勞働界に取つて、何れの方面にか名々その一歩を踏み出すべき動因を作つたものである。

（奉天 李炳榮）

左翼の中傷讒謗を尻目にかけて
日本農民黨準備委員會生る

農民同盟本部　黑木久造

本年四月、五萬の大衆を擁して創設せられた吾が全日本農民組合同盟は爾來今日まで殆んど不斷の多忙に見舞はれてゐた。創立の多端と、北は北海道より南は九州に至る諸縣の新申込みの連續は、吾々を寧日なく忙殺した。

あはてもの丶智識階級が吾々の組合を評して「農民の意志に叛いた幹部の野心」的企圖であり、その餘命幾莫もなしと無責任極まる烙印を押したにも係らず、而して大衆運動より他人の惡口に妙を得てゐる共產主義者からは「モウロウ組合」の暴評を天下に宣傳して貰つたにも係はらず、吾々の組合は彼等の豫想に相違して、既に六萬の會員數を突破し、今秋までには必ず十萬近くの組合員を得るであらうとの確信さへ抱き得るに到つたのである。「思想は穩健に、行動は勇敢に」我々は今や間斷なく農民大衆を味方に引き入れつゝある。

◇

吾々は如何なる主義、思想よりも實踐を重んずる。敵の陣營を顧みず、味方の實力を無視し、架空的理論を盲信して、馬車馬的に行動する左翼戰術の愚を繰返さないつもりだ。

吾々にとつては、小作爭議は革命の豫行演習ではなくして、小作條件の合理的改善である。鬪爭的宣傳の具ではなくして、小作生活の緩和と農業生產力の增加である。言ひ換へれば、實質的利益の獲得と組合の充實、發展、組合員の啓蒙訓練に重心を置くのである。

從つて吾等は徹底的の現實主義者である。勿論主義思想を輕視するのではないが、より以上に農民階級の生活要求に基いた實利と向上を組織的に增進することを重んずる。

我等が半歲足らずして六萬有餘の同志を全國に叫合し得たのも要するに斯ふ云ふ主張と方針が全農民大衆の要望に合致したがためであることは明らかだ。

◇

斯る吾々の發展に對し自惚れの强い共產主義者の惡宣傳には又憤飯に價するものがある。革命的幻影に逆せ上つてゐる彼等に現實の尊さが判らぬのは無理もないことだが、己れと多少でも異色のものを見れば、直ぐさま反動組合とか協調組合等の嘲弄的宣傳をほしいまゝにし、廣大な吾が社會運動の前途に暗影を投じ、然も一向恥づる樣子のないのは實に陋劣なる心事といふべきである。

彼らは今日まで吾々に無益にも凡らゆる喰ひ込み策、攪亂策を講じてゐる。然も其の總べては虛構の事であり、揑造事である。現實事情に疎い彼等も斯る惡宣傳と狡猾にかけては有田音松と兄弟分の奇才を有してゐる。然も斯ふ云ふ徒輩が左右兩翼の握手に最も必要な階級道德を最も神經質に日頃叫ぶのだから滑稽至極だ。資本主義の崩壞と無產階級の勝利が、鼻の先きにぶら下つてゐる筈の彼等が同志討ちに憂き身を窶してゐる事は實際日本農民組合の言ひ草ではないか「ブルジョア萬々歲だ。地主萬々歲だ。小兒病萬歲だ」

◇

惟ふに狹量な彼等には見解の差異など一向問題ではないらしい。只だ徒らに他を嘲笑し、愚弄する一事に解放運動の能事が懸つてゐるのである。觀念論者は多幸なる哉だ。

けれども吾が大衆運動はやつと社會的威力となつた許りである。その量的發展の貧弱なること未開墾地の廣大なることは一層解放運動の努力を欲求して歇まない。吾々は小農の利害を代表し、階級としての團體的使命の貴さのために、又荒唐無稽な惡宣傳の應酬に心勞の負擔を荷ふ代りに、なほ一層の奮鬪を農村啓蒙のために注ぎ度いと思つてゐる。

◇

尙我等は、本月上旬無產農民の非常な要望を負ふて組織準備

委員會の成つた日本農民黨も、左翼側の愚にもつかぬ中傷讒謗を尻目にかけ、益々好望の前途を展開してゐる。農民は農民黨へ！一貫した現實政策が無産農民大衆の意志であることを軈て時は證明すると吾々は確信してゐる。

然るに左翼側の機關紙は我農民黨を評して『勞働階級と提携せざる爲の農民黨なり』等と惡評を放つて居るが彼等は落着いて我等の聲明書並に各勞働團體へ送つた挨拶狀を見るがよい。

我等は全國の健全なる勞働組合の諸君と共に堅き握手をする前に其の準備行動として先づ全日本の農民大衆の政治的結成を圖らんとするものであると聲明して居るのである。繰返して云ふまでもなく左翼側の心算を碎いた全國の勞働組合會議が既に不成立になつたことは現實の問題として何人も否定することが出來ないではないか。

勞働組合の總聯合が出來ざる今日に特殊の事情を有する農民階級との速時單一無産政黨組織の如きは云ふべくして事實不可能なることは最近に於ける幾多の事實は最も雄辯に物語つてゐるものである。

由來出來ざることを出來るかの如く宣傳し、現實の問題として不可能なることも可能ならしめんとして却つて運動を混亂の極に陷らしめんとするのは左翼小兒病者の常に失敗を繰返せる事實である。

全勤勞階級は將來に於ける堅き握手をする準備行動として先づ自らの陣營を堅めんとする運動に何處に誤りがあるか。

遠く將來を考へずして目前の事實が彼等の直譯的の理論に合はぬからと云つて、直ちに其の團體に對して『協調』とか『墮落』であるとか云ふ樣な、言動を弄して、正々堂々と陣營を張つて居る團體に對して一個の宣傳を以て傷つけんとするが如きは、彼等の常に主張する『階級道德』を自ら裏切るものではないか。

我國の農村は今だ深く眠りに陷つたる巨數の農民階級は各地に存在してゐるのである。我等の任務は、未開の農村の啓蒙に全力をあぐるの時代であつて、他團體の攻撃に貴重の紙面と貴重の勢力を費すべき時期では斷じてないことを左翼の諸君に一言する。我等の所信を貫徹するため日本農民黨の大旆を掲げて勇往邁進せんとするものである。

左に日本農民黨組織準備委員會の聲明書、綱領、規約、政策を掲げて、諸氏の批評を乞はんとするものである。

聲明書

一千萬有餘の新選擧權を擁し、普選による最初の總選擧に直面して、我が無産階級の陣列は極度の紛糾を招來して居る。この混迷の間に敢然我等は現實主義を奉じて起ち、茲に農民黨組織の準備を進めんとするのである。

無産階級運動に於て、單一無産政黨の主張とか、勞働組合の全國的總聯合の提唱等の共同戰線論は絶えず主張され屢々企劃され而かも常に失敗を繰返せる事實は、今更ら喋々するまでもなく、日本の現實がその實現を可能ならしむる形勢に非ざるを立證するものである。即ち現下の形勢に於て左翼も右翼も勞働者も農民も擧つて單一無産政黨の傘下に集れといふが如きは、主張として正しき純理ならんも、斷じて遂に一個の空論である。

瞎目して現實を見よ。かゝる主張の下に成立したる我國唯一の無産政黨たる勞働農民黨は、猶多く各地に散在する勞働團體農民團體の全國的聯合をなし得ざるのみか、黨內部の絶えざる抗爭に苦悶を重ねつゝあるではないか。かくて今や、獲得し得べき大なる新勢力を前にして、千載一遇のこの好機を徒らなる理論の爲めに逸せんとするの情勢、我等袖手傍觀に忍びず、我等は先づ全勤勞階級が固き握手をなする前に、固く握手をなし得る我等自身の陣を鍛えんが爲め、我が全日本農民組合同盟はこゝに卒先農民黨樹立を提唱し、全國無産農民を語らひ農民黨の大傘下に農民同志を結成せんとするのである。

次回の總選擧は普通選擧である。素より猶ほ甚しく不滿足なる選擧法なれども、しかも從來僅に三百七萬なりし有權者が一躍一千三百七十萬に激增するのである。而してこのうち絶對多數の約八百萬を農民が占むるといふことは、我等の牢記せざるべからざる事實である。來る可き普選制の下に於て農民の力は偉大である。この制度の下に於ては原則として一人一票、一票一價である。富豪と雖も地主と雖も又學者と雖も我等と對等の一票である。而してあらゆる議決は終局多數決制による。數は力である。八百萬の有權者を擁する我が農民は決して政治的に微力ではない。既に實質的には新議會を左右し得る實勢力を保有するものではないか。

併し乍ら、たとひ八百萬の巨數と雖も散票である限り決して政治的勢力を形成しない。即ち我等は團結せねばならない。而して一人でも多くの代表者を送り得べく結束せねばならない。而してこれが完成の曉は、我等農民黨は絶對多數黨たり得ることを知られねばならない。これは空理ではない。我等の努力如何の問題である。我等はこの強き自信を以て、我等の力を發揮し我等の理想をこの日本の大地

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の上に實現せねばならぬ。
全國の農民よ！「農民は農民黨へ！」結束せよ。

大正十五年七月五日

東京市芝區愛宕町三ノ二
日本農民黨組織準備委員會

綱領

一 我等は勤勞階級なり
我等は特權階級による政治的支配を排除し全勤勞階級共同の理想たる社會的正義の實現を期す

二 我等は日本人なり
我等は特異なる日本國情の現實に立脚して產業の振興、分配の公平を計り、以て國民生活の安定並に向上に力め、親實なる我國本、並に公正偉大なる日本民族の發展を使命とす

三 議會政治の改革
我等は議會政策に即して、一切の不合理、不自然なる制度、組織、習慣を排し、合理的新日本の建設を期す

四 農村文化の樹立
我等は都會中心の不健全なる文化を否定し健實なる地方的新文化の完成を期す

政策草案

一 政治

一、普通選擧の徹底
二、貴族院の改革
三、無產階級運動取締に關する諸法令の改廢
四、國防軍備の整理
五、兵役義務者の給與增額及待遇改善
六、一般並に地方行政費、行政事務行政區劃の整理と自治制度の改革
七、國民外交の確立
八、移民政策の確立
九、財產稅の高率累進賦課と關稅及び消費稅の改廢等の稅制の根本的改革
一〇、恩給制度の改正

二 經濟

一、耕作權の確立
二、土地制度の改革
三、產業振興策の確立並に我が天然資源開發と生產力增進の爲めの體系的國立調査研究機關の設立
四、重要農產物專賣制實施
五、農村金融機關の改善及擴張
六、肥料の國營
七、農業保護施設の國家的經營
八、團結權罷業權團體契約權の確立
九、少年婦人勞働の保護制限
十、工場法の改善及最低賃銀制度の實施
十一、水力電氣の國營
十二、交通機關の整理、並に地方普及

三 社會

一、義務教育費國庫負擔
二、國民保險の徹底
三、病院、醫業の國營
四、生命、養老、災害、失業、疾病保險の國營
五、女子人身賣買の禁止
六、農村文化施設の普及

規約拔粹

第一條 本黨ハ日本農民黨ト稱ス
第三條 本黨ハ黨ノ綱領規約ヲ承認スル個人ヲ以テ構成ス
第四條 大會ハ黨ノ最高機關ニシテ總裁、大會代議員、幹事長、幹事、會計、中央委員ヲ以テ構成ス
第七條 中央委員會ハ黨ノ最高執行機關ニシテ總裁、中央委員、幹事長、會計ヲ以テ構成ス
第八條 本黨ハ左ノ役員ヲ置ク
總裁、幹事長、幹事、會計、會計監督中央委員、各部長、顧問、相談役
第二十一條 本黨ハ同盟會、聯合會、支部及班ヲ以テ組織ス
第二十二條 班ハ大字ヲ以テ、支部ハ村ヲ以テ、聯合會ハ縣ヲ以テ、同盟會ハ數縣ヲ以テ組織ス
第二十四條 縣聯合會ニハ左ノ役員ヲ置ク
縣聯合會長、幹事長、幹事、會計、會計監督
第二十六條 支部ニハ左ノ役員ヲ置ク
支部長、副支部長、會計、書記
第三十條 黨費ハ黨員一名一ケ月金十錢トス
第三十二條 本黨ノ宣言、綱領、規約ニ違反シタル者ハ中央委員會又ハ大會ノ決議ヲ經テ除名ス

ゴシップ テス

我が進め社にテスと云ふブルの名犬がゐる、社中切つての愛嬌者である。プロが來ると迚も懷つかしさうに尾を振り、頭を垂れて優遇する。その代りブルジョア（滅多に來た試めしはないが）やスパイが來ると、爛々たる眼をむき出し、物凄い聲で以つて吠えたてる。

先達てである。時恰たかも正午、警視廳のスパイがやつて來た。所が此の先生案内を乞ふ聲が少し遲かつた、そこで我が人氣者テス公忽ち怒髮天を衝き、猛然として躍り掛つた。此の時のスパイの顏色つたら無い。後にも先にも一つしか無い麥藁帽子を手にして直立不動の姿勢でもつて、カヽシの樣に突立つてゐる。そして訴へる樣に曰く『困つたな！何誰かなんとか早く此の犬を摑かまへてゐて下さい早く御願ひします。』と。そこで僕の曰く『ヨシ〳〵今摑かまへてやる。待つて給へ、一寸小便をしてくるから』。其の場合のスパイの顏、見る人をして悲痛の感あらしめた。

此の樣に我がテス君は味方に對しては實に無量の温たか味を持つてゐるが敵に對しては云ふべからざる敵愾心と叛骨の恨らみとを以つてゐる其の他毎日々々傑作をして噴飯せしめる程の愛嬌を演じつゝある（下）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

解放運動史上の人々

フランツ・メーリング（中）

淺野研眞

五

これが當時の雰圍氣だつた。誰れも全くメーリングを信じなかつた。彼は立派な一著作家として殘された。然し兩面に就て書き得る所の著作家としてである。即ち若し一方の面が支拂はれなかつたか、或は支拂はふとされなかつたならば、彼は他の面に行つて居たかも知れないのだ。實際に次ぎの數年間、彼は自發的に幾度びか地位を『投げ棄て』その衣變へを考へることもなく、生活の不安に面接した。而して一九一四年に酸い試驗がベーベルの決して證明しなかつた所の右の『心理學的な謎』の所へやつて來た時には、一九〇三年代の推定的『裏切者』は勇敢に立つて、カール・リープクネヒトや、ローザ・ルクセンブルグや、及びクララ・ツエットキン等と共謀して、泥土の中から赤旗をかゝげた。即ちその泥土の中へ、メーリングの誹謗者は、赤旗を落すことを許したのだ。彼の誹謗者等は、何邊にあつたらうか。若干の例外――知識階級者も其他の指導者共も何れも沈默してゐたか、然らざればカウツキイの如くに、インタナショナルは死んでは居ないと論爭した――の外は、黨員の誰れもが彼等の原理を否認しなかつた。彼等は論難して曰ふ、インタナショナルは戰時に對してのみならず、勞働指導者等が彼等の原理から去り、戰爭の大敗を打つ樣な戰爭期に於ても、大抵平和の手段であつたし、又さうあるのだと。然るに全く多くのものは、戰爭の大敗を打つた。而かも盛んに打つたのだ。拍手喝采して喜んだのは、ブルジョアジーと軍閥とであつたことは、云ふまでもないことだつた。

六

メーリングの性格の力が顯はされた今一つの重大な事柄があつた。彼はその名著『獨逸社會民主主義史』に於て、彼が殘した所の議論中、選ばねばならなかつたのは、マルクスとラッサアルとの間の、即ちアイゼナッハ派とラッサアル派との間の、史的論爭に關する意見を表現することを避けるか、又は輕視することによつて、該黨內の有力な人物等を怒らせないことの、或は宥めることの、可能性と眞實とであつた。メーリングは決して自分の思つたことを躊躇なく云つた。即ち如何に其のことが彼の個人的前途を損んじやうとも、彼は其を爲した。而して充分に確かではないがベーベル及び老リープクネヒト――ウキリアム・リープクネヒト、カール・リープクネヒトの父、一九〇〇年死――の何れも、彼がシユヴアイツレル又はラッサアルに關して言つた所のことに對して、永久に彼を勸辯しなかつたのである。感せざるを得ざることは、其が此の問題に關するメーリングの態度から生れた偏見であつた。即ちベーベル自身にさへ知られ得なかつた所の該問題が、彼の判斷に影響した。その結果として彼はメーリングの衝動的青年的向ふ見ずの突撃を『心理學的な謎』だと云ふに至つた。その青年は、つまり、他の多くの人が四十代か五十代に爲すことを――勿論自身の愚を愚として認め、且つ軍器を反對にする力を一般に有しない樣な老愚は例外とするが――唯だ二十代に於て爲したのだ！

メーリングが、該史に於て、老指導者達の感情を大切にして眞實を犧牲にしたのであつたならば、彼と彼等との關係は或はもつと圓滿であつたかも知れない。メーリングに對する偏見は『フオールベルツ』の主筆であつた父リープクネヒトが死んだ時に、もう一度正面に現れて來た。黨內の者は、誰れでも、その地位に對して最も才能ある人は、メーリングなることを知つて居た。然るに彼は看過された。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

その主要な地位は、最も不吉な結果を以て、記者委員會に渡された。

七

確かにリープクネヒトの編輯振りは、常設的戯言であつた。全く彼は御飾り頭領たるに過ぎなかつた。彼の編輯振りは、一軍の部下があつたにも拘らず、誰れをも満足せしめなかつた。父リープクネヒトは餘りに多くの仕事を有つてゐたので、立派な編輯者たることを得なかつたのだつた。而して彼の死は、該紙を新しい編輯基礎に置かせる機會を與へたのだつた。此の歩みは取られなかつた。誰れもメーリングの抜群の器量が充分に該紙を改善することを爭はなかつたにも拘らず、彼は駄目だと宣言された。此の事あつて少し後ちに『ライプチヒ民衆新聞』の編輯人が死んだ。當時、左翼の前衛を形成して居た所のライプチヒの同志等は、彼等の機關紙を、其が當初からさうであつた様に、獨逸に於ける社會主義新聞の最善のものたる様に、持續せしめやうと希望してゐた。尤も該紙は、今日でも勞働者新聞の模範とされて良いものだ。ライプチヒの同志等が、彼等の機關紙を統制すべき最良方法は委員會によるのではなくて、優良な主筆を任命し、彼の自由裁量に委すことに依るものなる事を實感したからして、彼等は其の地位をメーリングに提供することにした。彼は巴里に住んでゐて、必要の時に時々ライプチヒを訪問すると云ふ條件で引き受けた。ライプチヒの同志等は是を承認した。彼等はメーリングを得るために、非常な心配をしたものだつた。かくて『ライプチヒ民衆新聞』の高級な傳統は、メーリングの編輯振りの下に、確かに充分保持された。數年後、彼は日刊新聞を遠方で編輯する仕事は、自分にはえらいと感じたからして、其を止めることにした。疑ひもなく彼は、所謂與みし易き人物ではなかつた。然し畢竟一黨内に立派な人物を得るためには、彼等を賞讃せねばならないのである。さう云ふ問に、其の立派な人物は、主義を代表し、色々な氣質の人に合はせねばならない所の黨の紀律を一致せしめてゐるのだ。疑ひ得ないことは、若しメーリングが伯林の中央機關紙の編輯者に任命されたのならば、黨は莫大な利益を得たであつたであらう。其は右の方法によつてゞある。メーリングの歴史家としての謹直な態度は、上に闡說した如く、黨の歴史的論爭に關する其であつた。即ち此の歴史家は、史的觀點から、此等に近付かねばならなかつたのだ。一方では一般的にマルクスの政策は正しかつたことを指摘し乍らもメーリングは、マルクス及びエンゲルスが如何に屢々ラッサアルに對して不正義であつたかを示してゐる。彼は又、ラッサアル及びシユヴアイツレルの兩者が、多くの場合に、倫敦に住んでゐた所のマルクス及びエンゲルスよりも、獨逸に於ける状態の戰術的要用のより正しき評定を示してゐたことを指摘してゐる。

メーリングとその自署

即ちマルクス及び、エンゲルスは、屢々父リープクネヒトが、彼等を欺いたことを認めざるを得なかつた。彼は又、マルクス及びエンゲルスが如何に完全に當時の獨逸の一般狀態を誤解してゐたかを示してゐる。ベーベルのシユヴアイツレル攻撃を、メーリングは彼の『一警察代理人の思出』中に於て、其を全く理由なきものとして却下してゐる。

(未完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍事教育である
青年訓練に反對せよ

友實孫四郎

今や全國的に資本主義最後の武器たる軍國主義の魔の手が、益々伸され今回亦々青年訓練團と、名付けて、各所に實施されんとしつゝある。我等は此の問題に對し如何なる態度をとるべきか。

一

まづ青年訓練團の目的は、青年に軍事教育を與へる事と、軍事的精神を植付ける事とである先頃或る新聞は、左の如く報じて居た。

「政府は青年訓練所を設置して其の課定を、修了したる者は、在營年限を、短縮すると宣傳せば……入營せない時は實に、馬鹿らしいと云ふ者が續出するので、今度は、其の手を變へて今後國家の柱石と成る可きは青年なるが故に、此の訓練團によりて、公民教育を施すのだと、宣傳して居る」云々と有つた。いづれにしても、在營期間を短縮すると云ふ事實は、軍事教育でないと誰が云ひ得やうぞ。

然し一寸考へると修身、公民科、普通科と云ふ様な課目が有るから、軍事教育ばかりでないと云ふ考へも起らうが、其れは淺墓な考へ方であつて、軍事教練ばかりではだめだから、思想的方面と兩方から鍛へ上げ、青年をして、永久從屬的精神と、資本主義的精神を植付け様とするのである。

二

其れに就て我々が、今迄軍事教育に極力反對して來た理由をのべて見やう。

第一は、前言した如く、資本主義の經路は、帝國主義(軍國主義)が最後の斷崖である。今や我國資本主義も、此の時代へ這入つて居る。見よ神聖を誇りとする學校に迄、其の手を伸ばし、徹頭徹尾軍事教育を施して居る之は明かに、國家總動員たる、戰爭の準備に外ならぬ。戰爭の起る原因は『資本主義的經濟組織に於て 他國と利害の衝突したる場合と、今一つは我國の如く軍事教育に、主力を盡して戰備の擴張をせば、他國も必然的に之を行ふ。然而競爭の結果、國防の目的が、攻略に一變して勃發するのである』其の結果は多數の生産勞働者(無産階級)を無くする(殺される)故、神聖なる經濟の根本を、破壞する爲めに反對する。

第二は戰端が、開かれないにしても、軍事教育は、國民經濟を壓迫し、民衆の生活不安をもたらす事甚大である。それは一家に於て、働き盛りの人間で、然も、今適當なる職業に就いて居り、將來之を安んじて益々其の技能を練磨しやうとする青年だけに、家庭内にも、民衆としても、一大生活不安の原因となる事は明白なる故を以つて反對する。

第三は人類愛の根本から見て此の軍事教育は、戰爭教育(殺人教育)であり侵略の野心と、暴壓の惡心を助長さす非人間的教育である爲め反對する。

第四は國家的立場から論じても此の軍事教育や軍事訓練は、いい國亡的であつて、國防力にはならぬ。國防力とは、兵數や、武器のみを以つて、強弱は決しられなくて、其の背後に、巨大なる富力と、隆盛なる産業と、優秀なる科學とが、なければならぬ。我國現時の状態は如何に……こはあまりにも解り切つた事である、故に總てを完備するには、現在の資本主義的經濟組織を、根底から一變して、新經濟組織にすれば、完備するいや戰備の必要がなくなる。我等は戰爭は大反對である爲めに軍事教育に反對する。

三

要するに軍事教育は(青年訓練團)は社會の進化を害し、反人類的なる教育で有る。此の理由を諸君は、ハッキリ意識して猛然と起ちて反對運動を起せ。吾々が今日反軍教運動を起す事は死の道より、生の道への跳躍であり又與へられたる使命である

見よ各所に起る軍教反對行動を……聞け四方よりの反軍ラッパを……起て無産青年大衆よ。

革命要素としての闘爭意識

澤井龍之助

一

一九二三年を轉期として日本の社會運動は、大なる方向轉換を始めた。即ちそれは、これより二三年？以前に於て山川均氏の唱えたる『方向轉換論』に負ふ所少なからざるは否む事が出來ないであらう。而してその後に於て『方向轉換論』は社會運動家に據つて種々論議の的となつた樣である。而してこれ等の影響は勞働運動の指導精神にも觸れかくて其の運動方法及戰術にも多大の變改を來さしめたるは爭へない事實である。そうして先づ是れが實行上の先魁として現はれたのは、日本勞働總同盟の『方向轉換』であつた。卽ち換言すれば『看板の塗更』であつたのだ。これに刺戟され全國各勞働組合はこれに遲れを取らじとばかり其の『塗更』に遑なき程の變改振りを現出せしめた。これは正面より見れば寔に其の周章振りに驚かざるを得なかつたのであるが、反面より觀察すれば、運動の打開上斯くなるのが寧ろ至當であつたのかも知れない。何故かならば其の當時に於ける運動の狀態は可成、行詰りを思はせてゐたからである。かくてこの勢力は過ぐる大正十二年九月の大震火災を一轉機として急速に進展せしめた。そうして此處に異常なる自由主義的雰圍氣を醸成せしめたのである。かくて此の自由主義的氣分は各社會勞働團體の上に變態的な運動意識を植付けて了つた。彼等は今更の樣に自からの革命的感情がお可笑しくなつたのである。眼が覺めた！小兒病的左翼患者は今更乍ら、自分の子供らしさから大人にでもなつた心地であつたそして彼等は何よりも自分の地位と任務に氣が付き始めた！これでは不可ない。モット〱大地に足を踏みつけて、そして現實の奥底を眺めろ！

二

現實論者は斯く叫ぶ事によつて自からの進むべき道程を發見した如くであつた。そうして此の現實派一派と『方向轉換論主唱者』の御用黨とは間も無く喧嘩をオッ始めた。方向轉換論者は自分の宗旨を斷行し始めた現實派一派が憎くなつたのである。何故か？自分の宗旨を宣傳して呉れる程有難い事は宗教家等に尋ねて見ても判る事であるが、彼等はそうでなかつたのだ。彼等は自分の宗旨を橫取りされたのが殘念だつたのか？口惜しかつたのか？それは問ふ所でない。彼等の眞意は其の以外にあつた事は云ふ迄もない。かくて彼等の反目確執は日に募り月に勢を增せしめた。そうしてそれは現在迄も續けられ今後に於ても恐らく續けられて行くであらう。

斯くの如く日本の社會、勞働運動は今や、これ等が分裂流行の讀本となつて分裂に繼ぐ分裂を以つて前後終始して居る。大組合は云ふに及ばず、群小諸々の組合に於てもこれが病菌は可成り傳播されその赴く所計り知れざる境地に迄進展して居る。彼等の革命意識はそれに據つて段々稀薄になり始めた彼等には革命の言葉さえ今は忌むべき言語の樣になつて居る。そうして彼等の運動の目標は？理想は？いや、モウそんな事は云ふて呉れるな！現實を眺めろ！此の眼の前の現實を！

宜ろしい、現實は全く混亂狀態に陷入つて居る。そして何よりも反動思想が鼓吹され、それが彼等の身邊迄も襲ひ來りつつあるのを御存知ないか。彼等は現實の何處を眺めて居るのであるか。現實は眼の前だ。脚下だ。

吾等は思ふに彼等の此の變態的運動意識は自己無批判の結果に外ならぬと察せらる。彼等の頭の中には現實病菌以外にはなさそうである。そして又、新左翼病患者の頭の中には何があるか。曰く何よりも革命であるかそうではあるまい。彼等の腦味噌を分析すれば、飛んでもない化物が出て來るかも計り知れないのである。

三

政治家は自分が選擧される時

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に於ては何よりも民衆に忠實である。多數の民衆を眼の前にして彼等は有る事無い事いゝ加減に喋舌散らす。そして頭の五十遍も上げ下げして民衆に媚を呈する事を忘れない。が然し、彼等が一度選擧されるや、其麼事は夢の如く忘れ去つて、只だもう自分の偉いさと己の地位に滿足する。彼等には一定の信念と理想がない。賣名と自己滿足の外の何者でもない。そうして此の如き種類の生物は此の社會に幾らでもあるのだ。其の標本は時代の先驅者を以つて任ずる藝術家である。其中に於ても最も自慰的意識の强いのは文學者仲間であらねばならぬ。彼等は自己を以つて社會人よりも一等優れた人種を以つて任じて居る。そうして民衆は自から自己に着いて來るものと信じ、又自分等を以つて文壇と云ふ特殊社會若しくは部落に居住して居るものと考へる事に據つて自からを高く評する。

彼等の眼界は只もう文壇と云ふ狹隘な特殊社會の若しくは部落の範圍を出でない。彼等の頭の中には生きた現實社會が見えないのである。そうして生々しい人生の諸相及苦惱なんかには面を背けて見まいとする。彼等は單なる獨斷的藝術觀によつて自慰的美意識の享樂に溺れて其の生涯を終らしめる。彼等は人類社會の居候であり、寄生蟲でなければならない。

一定の環境に蟄居して廣い人類社會より遙かにかけ離れた特殊社會に居住する者は人間社會の眞の生活が判り得ないのは當然である。そうして斯くの如き社會に潛住する者は必然的に自己無批判の獨斷的認識に墜入らざるを得ないのである。而して此の原理は總らゆる特殊社會に居住する者に當嵌る。即ち、現在の社會運動團體及勞働組合運動者等の如き部類の人々にも演繹され得る可能性がある。

今や、社會、勞働運動家等は社會、勞働運動界と云ふ特殊社會に蟄居して廣大な、人類社會と云ふ目標を忘れかけ樣として居る。そして彼等は只だ妙な自慰心と其の地位に滿足し、本來の闘争意識より漸次、薄らぎかけて來た。彼等の頭の中には政治家及藝術家なんかと同樣な意識が蔽ひ覆せられて來た樣である。かくして彼等はそれ〳〵の特殊社會に居住して自からの生活に滿足を覺える。彼等は革命なんか何うだつていゝのだ。いや階級闘争なんかも實は何うでもいゝのかも知れない。

四

○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○
○○。○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○
○。○○○○○○○○○○の腦中には燃えたぎる樣な闘争意識で一杯だつた。それはカッフエーで、俄主義者が革命歌を歌ふ如きセンチメンタルなものではない彼等の胸中には千萬人の中をも一人で行かんが如き浩然の意氣とそして正義感があつた。そしてそれにも增して鐵をも貫ぬく意志の力があつたのだ。それは小兒病的革命意識ではない安價な感情の尖端を先走つた如き革命觀でもない。實にそれは朗らかな熱情の籠つた人類愛に根ざした所のものであつた。それは單なる革命の文字に安價な涙を流すセンチメンタリストではなかつたのだ。又徒らに理論の遊戯に耽る事を以つて其の職業とする學者には闘争意識のあらう筈がない。彼等の頭の中には知的享樂があるばかりだ。理論だけでは何麼に良い學說を吐こう共それは機械が電力になつて動くと同樣何等生命あるものではない。又單なる革命的感情は價ない夢の如き意識と自己滿足の自慰心に過ぎない。それは皆、革命要素としての闘争意識に缺除せる代物である。吾等の慾求するものは熱火の如き正義感である。

諸々の特殊社會若しくは部落――に安逸を貪る者は貪らして置け。然し、其の間に民衆は更に々々彼等よりも先を突き進んで行くであらう。進は若き青春の血潮漲ぎる青年を眞つ先きにして――。闘争意識の最も淸純熾烈なるは何と云つても無産青年でなければならぬ。無産青年こそは新時代の胎兒であらねばならぬ。

吾等は最後に於て斷言する。闘争意識の無い所に社會運動無く又それなくては遂に吾等が冀望する理想社會は永遠に來ないであらう。(完)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

或る對話

勞働者と神官

青山青

勞働者「よく君はさうして毎日人が聞いても分らないやうなノリトを唄つたり、紙の切れなどで男や女や子供の頭を拂つたり、またはわけの分らないやうな所謂家傳藥などを賣りつけたりして日を暮してゐますね。いや、まだある、君はよく春になると、これは有難い火伏せ石だの、厄拂ひなどと出たら目を云つて、石ころや、紙屑などを押しつけて金をまき上げますね。それから神樣へ寄進せよとか何とか云つて高價な大木などを切りたほさせて、自分の家を造つて住んでゐますね」

神官「いや君、僕は決して强制的に賣りつけたり、捲上げたりはしてないんですよ。これでも立派に人々の信仰の念をよびさましてゐる宗教家なんですよ。誤解されては困りますね」

勞働者「君が宗教家だつて。――これは面白い。君のやうに目ざむるばかりの贅澤なテイタクを構へて、くだらない唄を唄つてノンベンタラリと暮してゐる人間が宗教家だつて？ハハハちや、君が宗教家と云ふ人ならば、現代の宗教家の少とも一面の代表と見ていいわけだね」

神官「僕はたゞ一念神を崇敬し讃美し、かつ現世の諸々の罪惡を神の御力で清め給はらんことを、原始時代からの純眞な魂から發露したのりとでもつて祈るのだ。云へ換へれば、のりとを透して、神に仕へる徒たる僕の清純な魂の祈願を祈るのだ。それから火伏せの石だつても、神の清められた靈石たる物形を持つて世の汚れの火を清めんとする象徴なのだ。拂ひだつてその意味でだ。家の木だつて、君の云ふやうな强制的に神を賣物にして寄進させたんぢやないのだ。皆神を信仰する一念から、信者が自發的に寄進してくれたのだ。換言すれば、信者はそれによつて自己の祈願ないし信仰の淨念を表現したものなんだぜ。」

勞働者「ヘン、笑はせるない。君が守本尊の神樣つて奴は一たい全たい何時饑えたる者悩める者を救つたことがあるのだい。貴樣は何の彼のと屁理窟にもならない理窟をならべたつて、第一貴樣はその材木で自分の家を造らへて住み、その金や米で朝から晩までぜいたくなことをし、貴樣及び貴樣の子弟は大學や商業學校へ通つて教育を受けたんぢやないか。そしてまた、貴樣等の口ぐせにとなへる神樣と云ふ概念のために、今死ぬばかりの病人は滋養分たる肉汁や牛乳さへ汚れになると云つて呑めないぢやないか。そして、更に更にその上、貴樣らの贅澤な身なりや、生活樣式を模倣せねば人なりの暮しと見られないと迷信して、ありもしない金で身なりを飾らうとするんだぜ。その金のため金を出すため、一層みじめな貧乏をして罪惡を犯すことになるんだ」

神官「君は君はまあ、何と云ふ亂暴なことを云ふ人間なんだらう。僕はちつとも他人から資本家のやうに、物資勞力――幸福生命を搾取して生活するんぢやないのだ。他人が信仰の結果、捧げてくれるもので生活してゐるので、極めて神聖な生活なんですよ。それあね、君のやうな過激なニヒリスチックな思想の所有者になら、神も信仰もないんだらうけれど、そしてまた、世界が君のやうな人間で埋まつてるなら、無論神も信仰も必要ないんだらうけれど、世界は神をもとめ、信仰を求めてゐるのだ。僕等はさう云ふ健氣な正しい美しい魂のために、神を與へ、よりよき信仰を與へてやらなければならないのだ。君は全く逆上してゐる……」

勞働者「何が神だ。何のために信仰だ。世界は君の神を求め

て、信仰し、あげくのはてに君たち高等遊民の遊蕩費を捧げてゐると思つてゐるから、馬鹿も馬鹿大たはけと云ふんだ。世界は今苦しんでゐる、惱んでゐる。それが見えないのか、分らないのか。君たちを信仰して集まる人間たちはいかに無智で憐むべき奴隷なのか、分らないのか。その苦しみ拔いてゐる人間のもとめてゐるものは、到底君たちには分るまい。彼等無智な奴隷たちにもやがて覺醒の日が來る。否一歩一歩來つゝあるのだぜ。その民衆のもとめてゐるものを察して、彼らを指導し向上さして、一日も早く光明の彼岸に到達せしめんとする者こそ眞の宗教家だ。神だ。然るに貴樣はなんだ。彼等の無智をいい氣になつて、深いどん底までも突き落さうとしてゐる」

神官「君はまちがつてゐる。僕がいつ民衆を欺した。證據を上げて貰はう」

勞働者「白つぱつくれるない。貴樣が天晴れ宗敎家面してそんな絹物を着て、こんな吹雪の日は大火鉢に炭火を山盛りにしてゐることを知るがいい。そして、神の信仰のつて吐して精神的手淫してゐることを直視する。證據はまだある。貴樣の嚊の奴は或る町の醫者の娘だらう。貴樣はその娘に惡い病氣を傳染さしたぢやないか」

神官「そそ、それは……その……」

勞働者「貴樣がそんなに目を白黑さして驚くなら可愛相だ。もう證據は上げないでやらう。けれども、貴樣に敎へてやることがある。外でもない。貴樣がそんなことをしてゐるうちにも、社會には今日今日の現在、幾多の人類が、飢餓と寒さと病氣のために、いかに苦しんで居るか分らないのだぞ。泊るに家なく、着るに衣なく、トボ／＼と涙を流し顔を土色にしてさまよひ歩く人間が、どれほどゐるか分らないのだぞ。それらを貴樣は無智な惡人、信仰のないニヒリストと罵るだらう。何故なら、彼等は皆俺と同じやうに神を呪ひ、資本主義を呪ひ貴樣等遊民を呪つてゐるのだから。神がなんだらう。信仰がなんだらう。人類は今橫暴殘虐な資本家のために皆さうなつたんだ。彼らの胸には一杯に資本主義に對する憎惡が燃えてゐる。反抗がわき上つてゐる。それに對して貴樣等は金持を優遇し貧乏者を體よく排斥してゐるぢやないか。貴樣等は、、、、、あきらめを說き、戰ひの罪惡。憎惡呪咀の汚れを吐して、極力民衆の唯一の解放の道たる資本主義に對する憎惡、戰鬪心をなくすることに努めてゐるではないか。これこそ、最も憎むべき、ブルジョアよりも憎むべき、罪惡者ではないか。さうして無智な勞働者をして、ムザムザと闇から闇へ葬つてゐるではないか。何と云ふ罪惡だ。何と云ふ殘虐だ。神は萬人を幸福にするものなら、貴樣は神の名の前に自殺して終へ！無產階級勞働者のもとめる神は別にある。貴樣はそれを知らない！」

神官「……それはなんと云ふものだ？」

勞働者「聞きたいか？」

神官「聞かせてくれ」

勞働者「それはな貴樣ら及び、一切のブルジョアを殺しつくすことの信念、熱情を燃えたし、かつ、勞働者民衆をして、あくまでも民衆自身の解放の鬪爭を遂行さすべくつとめる歷史の進化意識、階級意識、更にその意識を自我とする正義、即ち貴樣等の神の云ふ惡魔よ」

神官「惡魔！ああ惡魔！」

勞働者「さうだ。惡魔だ。無智な人間をして現實の社會狀態にめざまし、階級鬪爭に參加せしむべく、民衆のなかには いつて、更に民衆のなかゝら生れて來る、○○の○○のことだ」（完）

原稿を募る

評論、創作、隨筆、詩歌、全士戰鬪等の原稿を募集する。但し取捨は編輯者に御一任下されたい。不掲載のものは御希望により返送する。同志諸氏の奮つて投稿されん事を望む。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

鈴ケ森だより

叛逆児痛論會の報告

◇進め八月號に豫告して置いた通り、お盆の十六日の夜に、鈴ケ森刑場に於いて時代の權力階級の爲に獄門に處せられた、反逆児先輩諸氏の出席を求め進め社樓上大廣間に於いて、大痛論會々催、盛會裡に十二時解散、先輩亡者諸氏は元の地獄に歸館した。先輩亡者諸氏の意氣盛んにして、生存者の當るべからざるものがあつた。私は亡者諸氏を代表して激論の重なるものを槪略報告する。

和泉屋次郎吉提案　(一)現在ブルジョアジーの私有せる生產機關及び土地の國有(二)無產階級は勞働の全收を獲得する事(原案可決)

吉田松陰提案　來る可き〇〇の準備として無產階級の〇〇軍事教練を行ふ件(二)〇〇〇の秩序を維持する爲に一般民衆に社會主義の理論を智覺さすべく生存先覺者に依つて宣傳を徹底して貰ふ事所謂教育機關の完成(議長)其れは現在生存中の吾等は雜誌又は言論に依つて奮鬪して居ります、當社發行の進めも勇敢に其一班として活躍して居るのである故に第二の議案は參考迄にして原案を可決します。

由井正雪提案　無產階級陣營內から出たスパイを一刀兩斷にするの件、二、〇〇運動の組織に關して機密を他に漏したる者に〇〇〇憲法の定める處の最極刑に處する件、議論沸騰原案可決。

大杉榮提案　ブルジョア維持の軍隊を主義者出身の在營者により〇〇思想宣傳を〇〇〇手段により尙一層徹底さす件。

平澤計七提案　現在橫暴を極めてゐる警察制度拷問に對して〇〇〇抗爭を開始するの件。此れは現在生存者に依りて不可能なるを以て、憤慨して現在社會から未來社會に旅立ちたる先輩亡者諸氏に搦手から攻擊して貰ふべく交涉の結果亡者諸氏の承諾を得て可決、

◇外に二三ありますが檢閱の嚴しき折柄記載を止めて來社された時にでも口から耳に直接に報告申上げる事にする。(辰)

暴力の練磨と希望

◇我が社の庭園廣き事約五百坪、一面綠草に蔽はれてゐる。これぞ來るべき日に備ふべく同人等の柔道、擊劍、拳闘、角力の演武場である。柔道二段、劍道初段の猛者藤井兄等は此の炎天下に朝から晩迄淋漓たる流汗を拭ひつゝ武力を練るに餘念がない。其の他の諸兄も何れ劣らぬ豪の者揃ひだ。

◇それから誌代の事だが前金切れになつてゐる諸君は此方から請求される迄もなく、進んで拂込んで頂きたい。ブルジョアの道樂雜誌ならいざ知らず、プロレタリアの出してゐる雜誌である。その邊をよく御察しの上速に拂込んで頂きたい。次に支局への御注意だが、雜誌の發送部數は其の前月の部數だけ發送しますが、若し部數に變更のあつた際は必ず毎月二十日迄に其の旨を知らして下さい。(工藤)

歸參者の言葉

◇炎暑正に百二十度を降らす。その炎天下に身を焦しつゝ不斷の鬪爭を持續されつゝある同志諸兄に、今歸參見得るの時を得た大路龍一郎、玆に西下貞謹んで一言申す。「進め」を去つて一年四ヶ月。其の間何を成して來たか？……全く？だ。私は今大阪進め社の机にもたれて靜に過去を振り返つた。

そして考へて見ると、そうした事を考へる事が馬鹿々々しくもある。だが又半面にその間の生活は自分自身の個人的立場から考へると最も貴重な人間生活の記錄であり、人生に對する大きな試練であつたとも思はれる。

◇幸ひに今捲土重來の時を得て無意義なりし一年四ヶ月を同志諸兄の前に御返濟する時の近き事を誓ふ。(大阪にて大路)

編輯室より

◇八月號は伏字が餘り多かつた爲め讀者諸君に甚だ申譯がなかつた。然しながら是れもブルジョア政府の支配下にある限り、そして彼等の存續する限り、發禁と同じく、仕方がないとして諦らめて貰ふの外ない。

◇本誌「勞働組合の本質的歩み」は、組合運動の混亂期にある今日、最も適切な文字であると信ずる。筆者望月源治氏は總同盟爭議部長として戰鬪に寧日なき有樣なるに拘はらず、頃日寸暇を割いて此文を寄せられた事を感謝する次第である。

◇「失業者の問題」を寄せられた木莊可宗氏も八月末、カムチャツカへ向け旅立つべく多忙たる旅裝裡に執筆された事を感謝する。

◇石川準十郎氏の「社會主義講話」は後一回で完結になる筈だが今月は同氏の都合で掲載する事は出來なかつた。

◇前田河廣一郎氏の「ジミー君の話」は近日改造社から出版される事になつたので遺憾ながら續けられないと同氏から御通知があつた。其の代り來月號には又他の物を書いて下さる筈である。

◇全土戰報欄を擴張した。未だ〳〵擴張したいと思つてゐる。地方にある同志諸君は大いに投稿されん事を切に望む。法律問答の質問も遠慮なくされたい。

◇豫告して置いた「マルクス寫眞集」「社會思想家寫眞集」及び淺野研眞氏の「日本勞働運動小史」は八月初旬に出來した。

◇補充兵として三ヶ月間の血税を收め、玆に元の居城、進め社に落ち着いた。

◇歸京以來編輯に、校正に、原稿取りに殆んど寧日なし。福田氏も亦、額に汗して東西を奔走。我社に集ふ健兒の意氣愈々旺なり。

◇時正に灼熱の炎暑、ブルジョアが海に山に暑を避くるの時、虐られたるプロレタリアが燒きつくが如きバラックの下に或ひはハンマーを打ち振り、或ひはインヂンにしがみついてゐる。全國の兄弟よ！健鬪せよ!!（松山）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平野力三
三和一男 編輯

農民組合

一部五錢
多數割引

東京芝區愛宕下町三ノ二

全日本農民組合同盟

電話銀座三八二〇番
振替東京四四三九六番

社會主義文藝雜誌

月刊 **文藝戰線**

一部貳拾五錢
途料壹錢

進めの讀者に限り見本無代進呈
但し申込は往復ハガキに限る

東京市外雜司ケ谷金山

文藝戰線社

振替東京五九三八七番

プロ文藝雜誌

月刊 **赤列車**

一部貳拾錢

東京牛込區場馬下町二三

赤列車社

水平運動の先驅

月刊 **自由新聞**

（一部拾錢）

東京市牛込區原町一ノ七二

自由新聞編輯事務所

市電從業員組合機關誌

月刊 **交通勞働**

一部貳拾錢

東京芝區烏森町一番地

日本交通勞働總聯盟

電話銀座四〇四六番

宮本純一主幹

月刊 **勞友**

一部貳拾錢

大阪市東區東坂町五〇二

握手社

農民運動の急先鋒

月刊 **小作人**

一部五錢
一年五十錢

山根積編輯

島根縣能義郡母里村
山崎豐定方

小作人社

振替大阪七六九九二番

▽同志のために解放△
▽至廉、親切、秘密△
▽期日正確料金最低△

新聞雜誌
專門印刷

愛知縣中田町

春秋社印刷所

振替大阪七四〇二九番
電話園四四六番

▽御照會次第案内書進呈△

幸德秋水書簡集

四六版 **解放**

定價壹圓
郵税四錢

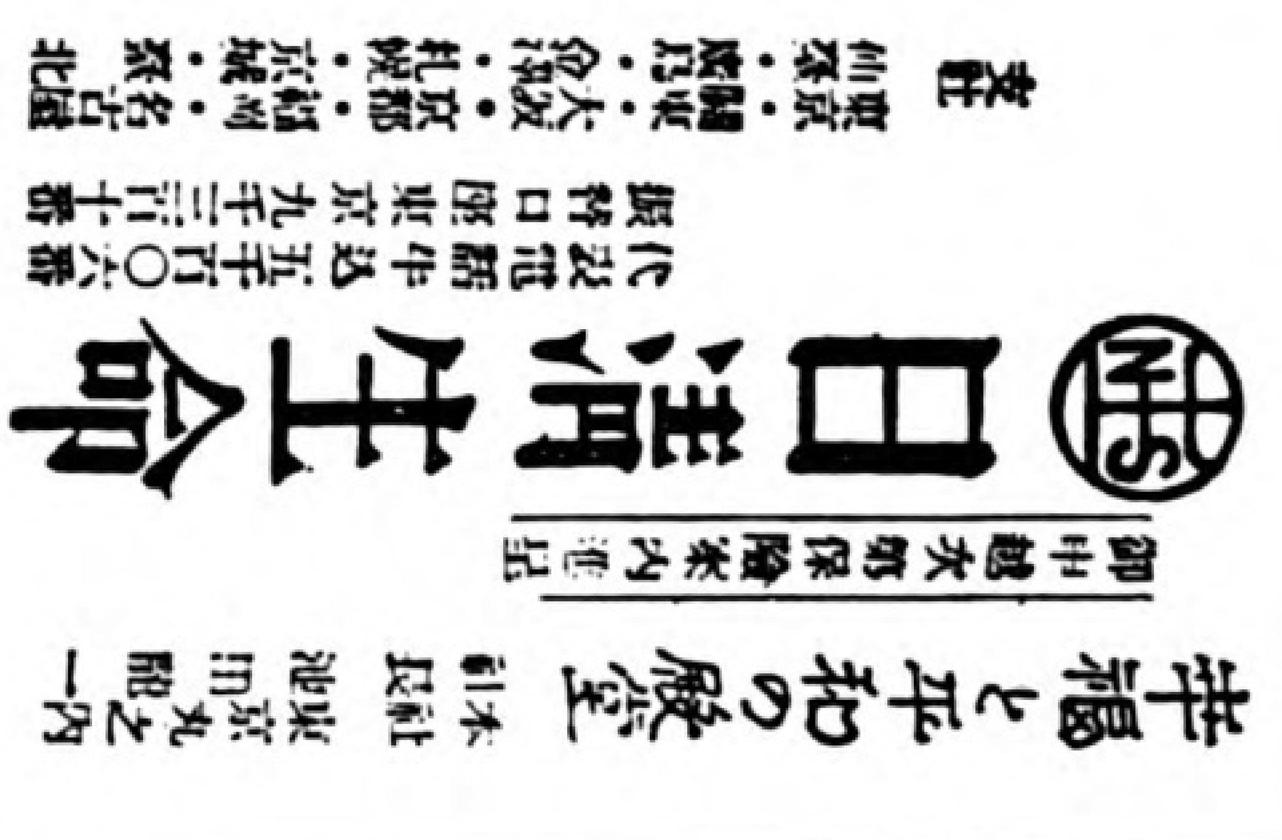
九月號愈々出來

東京市芝區新櫻田町一九

解放社

電話銀座二〇七七番
振替東京三六九四四番

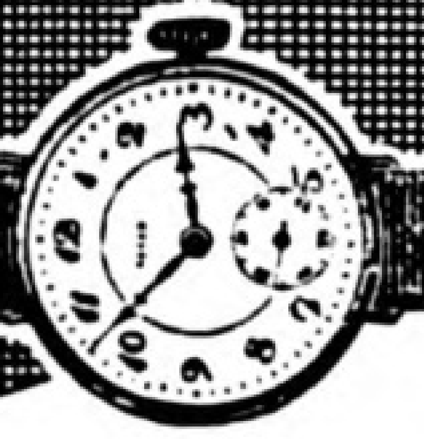
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



株式會社 中澤銀行
京橋區南新堀（永代橋通）

深川支店 東元町
下谷支店 坂本町
芝支店 今入町
芝口支店
小石川支店
高輪支店
月島支店
芝口一丁目
小日向水道町
大塚町
新佃島東町

天賞堂の特賣



新品輸着
金側腕時計臨時特賣

今回瑞西支店より直送の器械堅牢、時報正確、體裁優美の三大要素を具備し而かも實用向として推奬すべき優良時計三種を選び特別廉賣致します。個數に限りあり速に御用命の程お願申上ます。

十八金側
紳士用十形實用器械　價拾六圓
紳士用十形高級器械　價貳拾貳圓
婦人用八形實用器械　價拾九圓
婦人用八形高級器械　價貳拾五圓

◆市外送費拾八錢

東京市銀座尾張町二丁目（振替東京五五）
合名會社 天賞堂本店
天賞堂大阪支店・天賞堂日本橋支店

清新な趣味と實用に綾なす
內外のあらゆる流行品豐富

地方よりの御註文は御手紙にて通信販賣部宛に御願ひ申します

三越呉服店
大阪市高麗橋

混沌たる我國社會運動に一道の光明を齎らす無産大衆の言論機關！

主幹 赤松克麿

民衆新聞
月二回發行
定價一部二錢

支局募集！
全國各地に募集す希望者は至急申込まれたし

東京市芝區新堀町三十一番地
民衆新聞社
振替東京四八五一二番

社會智識講習錄

內容說明進呈

◇第一回讀者募集◇　締切迫る

政治の大衆化と社會情勢の複雑化とは社會智識をして萬人常識の要素たらしめつゝある。此の講習錄は普選實施と無産政黨の成立によつて動員する國民に新聞を讀むと同じ氣架さと平易さを以つて社會智識を會得せしむるために作られた。轉換の日を迎へつゝある時代を反映したものである。

毎月一冊づゝ發送六ヶ月にて完了＝全冊菊版四百頁 購讀料金壹圓九十錢

目録＝經濟學・政治學・社會史・社會學・政黨綱領・財政政策と經濟政策・政治與情産業事情・マルクス主義

神戸市湊川町二・上西書店內
振替口座大阪七八一五三番
社會智識學會

大正十三年一月三十日第三種郵便物認可　毎月一回
定價　一部十錢（税五厘）　半年六十錢　一年一圓（税六錢）
發行所　東京府下荏原郡大井町鈴ヶ森海岸一八九〇（振替東京六九八三）
進め社本部
大阪市東淀川區十三南之町
進め社大阪支部